

工事特記仕様書

I. 工事名

旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

II. 工事概要

1. 工事場所

津市殿村地内

2. 敷地面積

21,582.00m2

3. 工事内容

棟名称

管理棟・屋外便所棟・観覧席

構造

鉄骨造

建築面積

526.62m2

延べ面積

829.06m2

工事項目

III. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書（「建築工事編」最新版）（以下「標準仕様書」）及び公共建築改修工事標準仕様書（「建築工事編」最新版）

2. 特記仕様

1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。

3)項目に記載の（ ）内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章

項目

特記事項

①

①適用基準等

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。

1) 建築工事標準詳細図

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成28年版）

2) 建築物解体工事共通仕様書

国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成24年版）

3) 津市公共建築物等木材利用方針

②施工条件

施工方法及び検査に関する事項

※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。

※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。

※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。

※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし又、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行うこと。

※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。

※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。

※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。

※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。

※ 工事期間中、工事に起因し既存施設破損等を与えた場合は、工事請負者の責任において速やかに現状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。

※ 工事着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて、既設施設に破損等を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。

※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

③発生材の処理等

(1.3.11)

④建設副産物情報交換システムの利用

⑤三重県産業廃棄物税

6.電気保安技術者

(1.3.3)

⑦技能士

(1.5.2)

⑧建築材料等

⑨化学物質の濃度測定

(1.5.9)

⑩特別な材料の工法

⑪騒音・振動の防止

⑫工事写真

⑬完成図書

(1.7.2)

⑭完成写真

⑮設備工事との取合い

⑯設計GL

⑰養生その他

⑱事故の発生時

⑲消防関係の手続き

⑳労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置

1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。

2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。

測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン
	学校・教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
○	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所（○図示（図面番号： A-04 ） ・（ ））

測定方法（○パッシブ法 ・アクティブ法 ）

報告書提出部数 2部

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（最新版））に従い撮影する。

提出部数 1部 用紙は上質紙とする。

○作成する（○完成図 ○保全に関する資料 ・（ ））

○完成図作図範囲（設計図を訂正）

完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。

○デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。（A4版用紙に1ページあたり3枚） 1部

箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多大になる場合には、監督員と協議すること。

写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

施工範囲

○図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強

○図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強

○駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ施工図・設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

○図示のベンチマーク(B.M) -40 mm

(現状地盤はB.M mm)

工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にない補修すること。

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。

また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成

○本工事（○建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事）

・別途工事

2) 防火対象物使用開始届出書

書類の作成（建築図面の作成及び建築に関する部分の記入）を行うこと。

労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

①)不正軽油の使用の禁止

22.屋外広告物

1) 一般事項

市工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。

2) 調査の協力

受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。

3) 是正措置

受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

MEMO

株式会社ジェイエイ津安芸

三重県津市一色町 211

TEL 059-224-8941

FAX 059-224-9001

作製年月日

訂正年月日

御承認

作 図

工事名称

令和元年度河川ス振継第2号

旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

図面名称

特記仕様書（1）

縮尺

図番

T-01

仮設工事

②

1. 監督員事務所
(2.3.1)

・設置する。
監督員事務所の規模（単位：㎡）

適用					
規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度

2. 監督員事務所の備品
(2.3.1)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量		組	台	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量		足	着	個	個
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量		個	個	台	台

監督員職員事務所の仕上げ

部 位 等	仕 上 げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り

③

仮設便所

④

工事用水

⑤

工事用電力

⑥

足場

7.

交通誘導警備員

③

土工事

①

掘戻し及び盛土
(3.2.3)
(表3.2.1)

②

建設発生土の処理
(3.2.5)

3.

山留めの撤去
(3.3.3)

④

地業工事
(構造特記仕様書による)

①

杭の施工管理

②

適用基準

③

施工記録

④

根拠資料

5.

試験杭及び試験掘
(4.2.2)

⑥

杭の支持地盤

⑦

水平方向の位置ずれ

8.

杭の載荷試験
(4.2.3)

9.

地盤の載荷試験
(4.2.4)

⑩

既製コンクリート杭
(4.3.2)
(4.3.3)
(4.3.4)
(4.3.5)
(4.3.7)

11.

鋼杭地業
(4.4.2)
(表4.4.2)
(4.4.4)
(4.4.3)
(4.3.5)
(4.3.6)
(4.3.7)

12.

場所打ちコンクリート杭地業
(4.5.3)
(4.5.4)
(4.5.5)

⑬

地盤改良

(100) mm以下

試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示（図面番号： ） 載荷荷重 (kN)
報告書 ・ 提出部数 2部

試験方法 ・ 平板載荷 ・ ()
試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。
位置 ・ 図示（図面番号： ） 載荷荷重 (kN)
報告書 ・ 提出部数 2部

・ PHC杭
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
・ SC杭
・ PRC杭
○ 上記以外の建築基準法に基づく杭
(参考表)

種別	杭径(mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
P1	350Φ	15.0m	1	19本	680	
PIA	350Φ	15.0m	1	3本	680	

先端形状 ○ 開放型 ・ 閉そく型

施工方法
・ 打込み工法 設計支持力 ()
打込み杭の推定支持力の算定方法 ()
・ 打撃工法
・ プレボーリング打撃併用工法
(掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm)
・ セメントミルク工法
・ オーガーの支持地盤への掘削深さ
・ ()m ・ 図示（図面番号： ）
・ 杭の支持地盤への根入れ深さ
・ ()m ・ 図示（図面番号： ）
○ 特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とする。）
継手 ・ アーク溶接 ○ 無溶接継手
杭頭の処理 ○ 行う ・ 行わない

・ 鋼管杭 ・ SKK400 ・ SKK490
・ H形鋼杭 ・ SHK400 ・ SHK490M
径 ・ 300 ・ 350 ・ 400 ・ 450 ・ ()
長さ ()m
先端形状 ・ 開放形 ・ ()
補強方法 ・ 補強バンド ・ ()
継手 ・ JISA5525(鋼管ぐい)
施工方法
・ 打込み工法 設計支持力 ()
打込み杭の推定支持力の算定方法 ()
・ 打撃工法
・ プレボーリング打撃併用工法
(掘削深さ 設計GL m 掘削径 mm)
・ 特定埋込杭工法（建築基準法に基づく埋込杭工法とする。）
杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない

施工方法
・ アースドリル工法
・ リバース工法
・ オールケーシング工法
・ 鋼管コンクリート杭工法
掘底 ・ 行わない ・ 行う ()
孔壁の超音波測定 ・ 行う ・ 行わない

帯筋 ・ 図示（図面番号： ）
鉄筋かごの補強
・ 標準仕様書[4.5.3](a)(iii)による ・ 図示（図面番号： ）
コンクリートの種類 ・ A種 ・ B種
設計基準強度 ()N/mm²
セメントの種類 ・ 高炉セメントB種 ・ ()
最小かぶり厚さ ()mm
構造体強度補正值 (S) ・ 3N/mm² ・ ()
○ (浅層混合処理)工法
○ 六価クロム溶出試験
○ 室内配合試験
○ 一軸圧縮試験

⑬

地盤改良

①

鉄筋の種類
(5.2.1)

②

溶接金網
(5.2.2)

③

内法直径
(5.3.2)

④

継手
(5.3.4)

5.

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔
(5.3.5)

⑥

各部配筋
(5.3.7)

⑦

圧接完了後の試験
(5.4.9)

8.

機械式継手及び溶接継手
(5.5.2)

①

鉄筋の種類
(5.2.1)

②

コンクリートの種類
(6.2.1)
(表6.2.1)

③

砂及び砂利地業
(4.6.3)

⑬

筋コンクリート地業
(4.6.4)

⑬

床下防湿層
(4.6.5)

厚さ(mm) ・ 60 ○ (100、150)
・ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。

厚さ(mm) ○ 50 ○ (90)
・ 仕上がりレベルを計測し、記録すること。

施工範囲 ○ 図示（図面番号： A-08 ）
ポリエチレンフィルム厚さ ○ 0.15mm以上 ・ ()
・ 防湿層の重ね幅、基礎梁へののみ込みは、250mm以上とする。

種類の記号	径	備 考
○SD295A	○D16以下	
・ SD295B	・ ()	
○SD345	○D19以上	

・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの

網目の形状、寸法
鉄線の径 (mm) ・ 4 ・ 5 ○6 ・ ()
寸法(mm) ○100×100 ・ 150×150 ・ ()
90°未満の折曲げの内法直径 ○90°に準ずる

	径	部 位
○ 重ね継手	D16以下	
○ ガス圧接	D19以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
○ 標準仕様書[5.3.4](a)(1)
・ 図示（図面番号： ）
継手位置
○ 各部配筋参考図による
・ 図示（図面番号： ）
鉄筋定着
○ 標準仕様書[表5.3.4] ・ 図示（図面番号： ）

軽量コンクリートで土に接する部分
・ 無し ・ 有り(適用箇所：)
最小かぶり厚さ ()mm
耐久性上不利な部分(塩害を受けるおそれのある部分等)
・ 無し ・ 有り(適用箇所：)
最小かぶり厚さ ()mm

○ 図示(図面番号： S-21、25、26、27、28)

抜取試験方法 ○ 超音波探傷試験 ・ 引張試験

・ 機械式継手 種類 () 工法 ()
品質の確認方法 ()
不良部分の修正方法 ()
鉄筋相互のあき ()mm

・ 溶接継手 工法 ()
品質の確認方法 ()
不良部分の修正方法 ()
鉄筋相互のあき ()mm

⑥

コンクリート工事
(構造特記仕様書による)

①

コンクリートの使用骨材による種類及び強度
(6.2.1)
(6.2.2)
(6.2.4)
(6.11.1)
(6.11.3)
(6.10.1)

②

コンクリートの種類
(6.2.1)
(表6.2.1)

③

コンクリートの仕上り
(6.2.5)

④

セメント
(6.3.1)
(表6.3.1)

⑤

骨材
(6.3.1)

⑥

コンクリート工事
(構造特記仕様書による)

⑦

型枠
(6.8.2)
(6.8.3)
(表6.8.1)

⑧

コンクリート強度試験
(6.9.3)

9.

寒中コンクリート
(6.11.2)

⑩

暑中コンクリート
(6.12.2)

11.

マスコンクリート
(6.13.1)
(6.13.2)

12.

無筋コンクリート
(6.14.1)

13.

流動化コンクリート
(6.15.1)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上りの種類
○ A種 ○ B種 ・ C種

種類 ○ 普通ポルトランドセメント、混合セメントA種
・ ()
高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種
・ 適用箇所 図示（図面番号： ）

アルカリシリカ反応性による区分
○ AL（コンクリート中のアルカリ総量を規制）
・ A(安全と認められる骨材を使用)
なお、ALで規制できない場合はAとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が、生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。
・ 特殊な骨材の使用
・ フェロニッケルスラグ細骨材
・ 銅スラグ細骨材
・ 電気炉酸化スラグ骨材
・ 再生骨材H

混和材料 ・ 図示（図面番号： ）
混和剤の種類、使用方法、使用量
○ 標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi)
・ ()
混和材の種類、使用方法、使用量
・ 標準仕様書 [6.3.1] (d) (i)、標準仕様書 [6.3.2] (2) (vi)
・ ()

材料 ・ 複合合板（厚さ(mm) ○ 12 ・ ()）
打増し厚さ ○ 図示(図面番号： S-18、23、24、26)
誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法
○ 図示(図面番号： A-05)
・ 断熱材の兼用
・ MCR工法用シート
スリーブの材質、規格等
・ 標準仕様書[表6.8.1] ○ 図示（図面番号： S-09 ）

圧縮強度試験の供試体の材齢
○ 材齢28日 ・ 型枠脱型用
○ 材齢28日を超え91日以内

適用期間 ()
・ 調査管理強度、調査強度を積算温度を基に定める

構造体強度補正值(S)
○ 6 N/mm² ・ ()

適用箇所 ・ 図示（図面番号： ）
セメントの種類 ・ 中庸熱ポルトランドセメント
・ 低熱ポルトランドセメント
・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種
・ 普通ポルトランドセメント

スランブ ・ 15cm ・ ()
混和剤 ・ 標準仕様書[6.13.2](b)(1)
・ ()

適用箇所 標準仕様書[6.14.1]
・ 上記以外の適用箇所 ()
設計基準強度 ・ 18(N/mm²) ・ () (N/mm²)
スランブ ・ 15cm ・ 18cm

適用箇所
・ 図示(図面番号：)

工事名称 令和元年度河川ス振継第2号
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

図面名称 特記仕様書（2）

縮尺

図番 T-02

MEMO

株式会社ジェイエイ津安芸
三重県津市一色町 211
TEL 059-224-8941
FAX 059-224-9001



作製年月日

訂正年月日

御承認

作 図

7

鉄骨工事

(構造特記仕様書による)

①

施工管理技術者 (7.1.4)

②

製作工場 (7.1.3)

③

鋼材 (7.2.1)

④

高カボルト (7.2.2)

⑤

普通ボルト (7.2.3)

⑥

溶融亜鉛めっき高カボルト (7.3.2)

⑦

アンカーボルト (7.2.4)

⑧

溶接材料 (7.2.5)

⑨

ターンバックル (7.2.6)

⑩

デックプレート (7.2.7)

⑪

柱底均しモルタル (7.2.9)

12

材料試験等 (7.2.10)

⑬

仮組 (7.3.10)

○適用する

(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

・J・**R**・M・H・S

材質、形状及び寸法

○図示 (図面番号：S-23、24)

種類

○トルシア形高カボルト2種 (S10T)

・JIS形高カボルト2種 (F10T)

○溶融亜鉛めっき高カボルト1種 (F8T相当)

高カボルトの径

○図示 (図面番号：S-25)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

○図示 (図面番号：S-07、25)

すべり係数試験

○行わない・行う

試験方法等

・()

JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合

・回転量 ()°

ボルト及びナットの材料等、ボルトの径

○図示 (図面番号：S-07)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

○図示 (図面番号：S-07)

摩擦面の処理

・プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上)

○りん酸塩処理

すべり耐力等の確認方法

・すべり耐力試験

試験方法等

・()

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

○図示 (図面番号：S-07、25)

適用箇所及び種類

構造用

○図示 (図面番号：S-08、25)

・SNR400B

・()

建方用

・図示 (図面番号：)

・SS400

・()

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み

・A種

・B種

・C種

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度

・標準仕様書 [表7.2.3]

・図示 (図面番号：)

構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法

・図示 (図面番号：)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

・図示 (図面番号：)

材料

○標準仕様書 [7.2.5] (a) (b) 以外の溶接材料

()

種類及びねじの呼び等

○図示 (図面番号：S-25)

建築用ターンバックル胴

・割枠式

・()

建築用ターンバックルボルト

○羽子板ボルト

・()

材質、形状及び寸法

○図示 (図面番号：S-12、13、14)

溶接方法

○図示 (図面番号：S-12、13、14)

柱底均しモルタルの工法、厚み

○A種 (30)mm

・B種 ()mm

無収縮モルタルの材料及び調合

○標準仕様書 [7.2.9] (b)

・()

板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験

・JIS G 0901により行う

○行わない・行う

仮組を行う範囲

・図示 (図面番号：)

⑭

溶接作業における技能資格者 (7.6.3)

⑮

溶接部の開先 (7.6.4)

⑯

溶接施工 (7.6.7)

⑰

溶接部の試験 (7.6.11)

⑱

錆止め塗装 (7.8.3)

19

耐火被覆 (7.9.2)

⑳

軽量形鋼構造 (7.11.2)

8

ブロック・ALCパネル

溶接作業の技量付加試験

○行わない・行う

開先の形状

○図示 (図面番号：S-06)

エンドタブの切除

・適用箇所

図示 (図面番号：)

板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部

・低応力高サイクル疲労を受ける部位

図示 (図面番号：)

スカラップの形状

○図示 (図面番号：S-26 (ノスカラップ工法))

試験の種類

○超音波探傷試験

・()

溶接区分	AQUL (%)	検査水準	備考
現場溶接	・2.5 ・4.0		・計数連続生産型抜取検査
工場溶接	・2.5 ○4.0	○6	

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリフの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る)

○標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1]

(A)種

耐火被覆材の接着する面への塗装

・行わない・行う

適用箇所

図示 (図面番号：)

種類

・標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.1]

()種

・標準仕様書 [18.3.2]、[表18.3.2]

()種

部 位	種 別	仕 様

接合部 (ボルト接合の場合)

○普通ボルト接合

・()

種類	単位 荷重 (N/mm ²)	呼び寸法 厚さ (mm) 幅 (mm)	構法	耐火性能
・外壁 パネル	・()	・100 ・()	・()	・A種・B種 ・()時間 ・無し
・間仕切 壁パネル	・()	・100 ・()	・()	・C種・D種 ・E種 ・()時間 ・無し
・屋根 パネル	・()	・100 ・()	・()	・F種 ・()時間 ・無し
・床 パネル	・()	・100 ・120 ・150	・()	・F種 ・()時間 ・無し

パネル幅を300mm以下とする部分

・適用あり

外壁、屋根及び床パネル構法

風圧力に対応した工法

・適用あり

出隅、入隅等の取合い部の伸縮目地幅 (mm)

・()

伸縮目地への耐火目地材の充填

・適用する (材料：)

4

押出成形
セメント板
(8.5.2)
(8.5.3)
(8.5.4)
(表8.5.1)
(8.5.5)
(表8.5.2)

①

アスファルト
防水
(表9.2.3)
～(表9.2.8)
(9.2.2)
(9.2.3)

⑨

防水
工事

種類	表面形状及び 原料区分	板厚 (mm)	働き幅 (mm)	工法
・外壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・()	・()	・A種 ・B種
・間仕切壁 パネル	・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル	・()	・()	・B種 ・C種

パネル相互の目地幅 (mm)

・長辺 8以上、短辺 15以上

・()

出隅、入隅の接合部の伸縮調整目地幅 (mm)

・15

・()

目地及び隙間の処理

・()

外壁パネル構法

風圧力に対応した工法

・適用あり

間仕切壁パネル構法

パネルに欠き込みを行う場合

・パネル開口の限度

・図示 (図面番号：)

種 別	施 工 箇 所
改質アスファルト AI-1 (中央建材工業 FPI-2 同等品)	RF屋根

改質アスファルトシート

種類

○標準仕様書 [表9.2.3] ～[表9.2.8]

・図示 ()

厚さ

○標準仕様書 [表9.2.3] ～[表9.2.8]

・図示 ()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類

・標準仕様書 [表9.2.5] ～[表9.2.8]

・図示 ()

厚さ

・標準仕様書 [表9.2.5] ～[表9.2.8]

・図示 ()

絶縁用シート

・ポリエチレンフィルム (厚さ 0.15mm以上)

・フラットヤーंकロス (70g/m²)

押え金物

○アルミ製 80×30×t2.0

・図示 ()

断熱材

○屋根保護防水断熱工法

種類 (硬質ウレタンフォーム)

厚さ (35) mm

・屋根露出防水断熱工法

種類 ()

厚さ () mm

屋根保護防水

立ち上がり部の保護コンクリート

・図示 (図面番号：)

乾式保護材

・使用する

立ち上がり部保護れんが

・JIS R 1250

・()

脱気装置

・設置数量

図示 (図面番号：)

種類 ()

屋根露出防水における仕上塗料

・図示 (図面番号：)

種類 ()

使用量 ()

屋内防水密着工法における保護層

・図示 (図面番号：)

防水層の下地モルタル塗り

・図示 (図面番号：)

立ち上がりのコンクリート打放し仕上げの種別

種類

・B種

・()

屋根露出防水絶縁断熱工法

ルーフトレン回り及び立ち上がり部周辺断熱材の張りじまい位置

・図示 (図面番号：)

保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ

○水下 80mm以上

・()

床タイル張り

・水下 60mm以上

・()

屋上排水溝

○図示 (図面番号：A-08)

2

改質アスファルト
シート防水
(9.3.2)
(9.3.3)
(表9.3.1)
～(表9.3.3)

3

合成高分子系
ルーフィング
シート防水
(9.4.2)
(9.4.3)
(表9.4.1)
(表9.4.2)
(表9.4.3)
(9.4.2)

④

塗膜防水
(9.5.3)
(表9.5.1)
(表9.5.2)

⑤

ケイ酸質系
塗布防水 (9.6.1)
(9.6.3) (9.6.4)

種 別

施 工 箇 所

改質アスファルトシート

種類

・標準仕様書 [表9.3.1] ～[表9.3.3]

・図示 ()

厚さ

・標準仕様書 [表9.3.1] ～[表9.3.3]

・図示 ()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類

・標準仕様書 [表9.3.1] ～[表9.3.3]

・図示 ()

厚さ

・標準仕様書 [表9.3.1] ～[表9.3.3]

・図示 ()

仕上塗料

・図示 (図面番号：)

種類 ()

使用量 ()

脱気装置

・設置数量

図示 (図面番号：)

種類 ()

断熱材

・屋根露出防水絶縁断熱工法

種類 ()

厚さ () mm

種 別	施 工 箇 所

ルーフィングシート

種類

・標準仕様書 [表9.4.1] ～[表9.4.3]

・図示 ()

厚さ

・標準仕様書 [表9.4.1] ～[表9.4.3]

・図示 ()

絶縁用シート

・発砲ポリエチレンシート

・()

固定金具

材質、寸法形状 ()

・図示 (図面番号：)

断熱材

材質、厚さ ()

・図示 (図面番号：)

仕上塗料

・図示 (図面番号：)

種類 ()

使用量 ()

S-M2又はSI-M2で立ち上りを接着工法

立ち上がり面のシート厚さ

・15mm

・() mm

屋内保護密着工法

モルタル塗り厚さ

・() mm

床塗りの工法

・標準仕様書 [15.2.5] (b) (2) (3)

・()

保護コンクリートの厚さ

・() mm

立ち上がり部の保護モルタル塗厚さ

・7mm以下

・() mm

目地処理 (S-F1、S-F2、SI-F1、SI-F2、S-C1)

PC下地、ALC下地でS-C1の場合

・図示 (図面番号：)

増張り (S-F1、SI-F1、S-C1)

PC入隅部、ALC下地でS-C1の場合

・図示 (図面番号：)

機械的固定工法

風圧力に対応した工法

・図示 (図面番号：)

施 工 箇 所	種 別
	X-1
ハト小屋	X-2
	Y-1
	Y-2

脱気装置 (X-1)

・設置数量

図示 (図面番号：)

種類 ()

保護層 (Y-2)

・図示 (図面番号：)

仕上塗料

・図示 (図面番号：)

種類 ()

使用量 ()

適用部位

○図示 (図面番号：A-24)

防水層の種類及び工程

○C-UI

・C-UP

下地処理 (b) (1) から (3) 以外の場合

○図示 (図面番号：A-24)

MEMO

株式
会社 ジェイエイ津安芸

三重県津市一色町 211

TEL 059-224-8941
FAX 059-224-9001

作製年月日

訂正年月日

御承認

作 図

工事名称
令和元年度河川系振継第2号
旧津市民プール跡地テニスコート整備工事

図面名称
特記仕様書 (3)

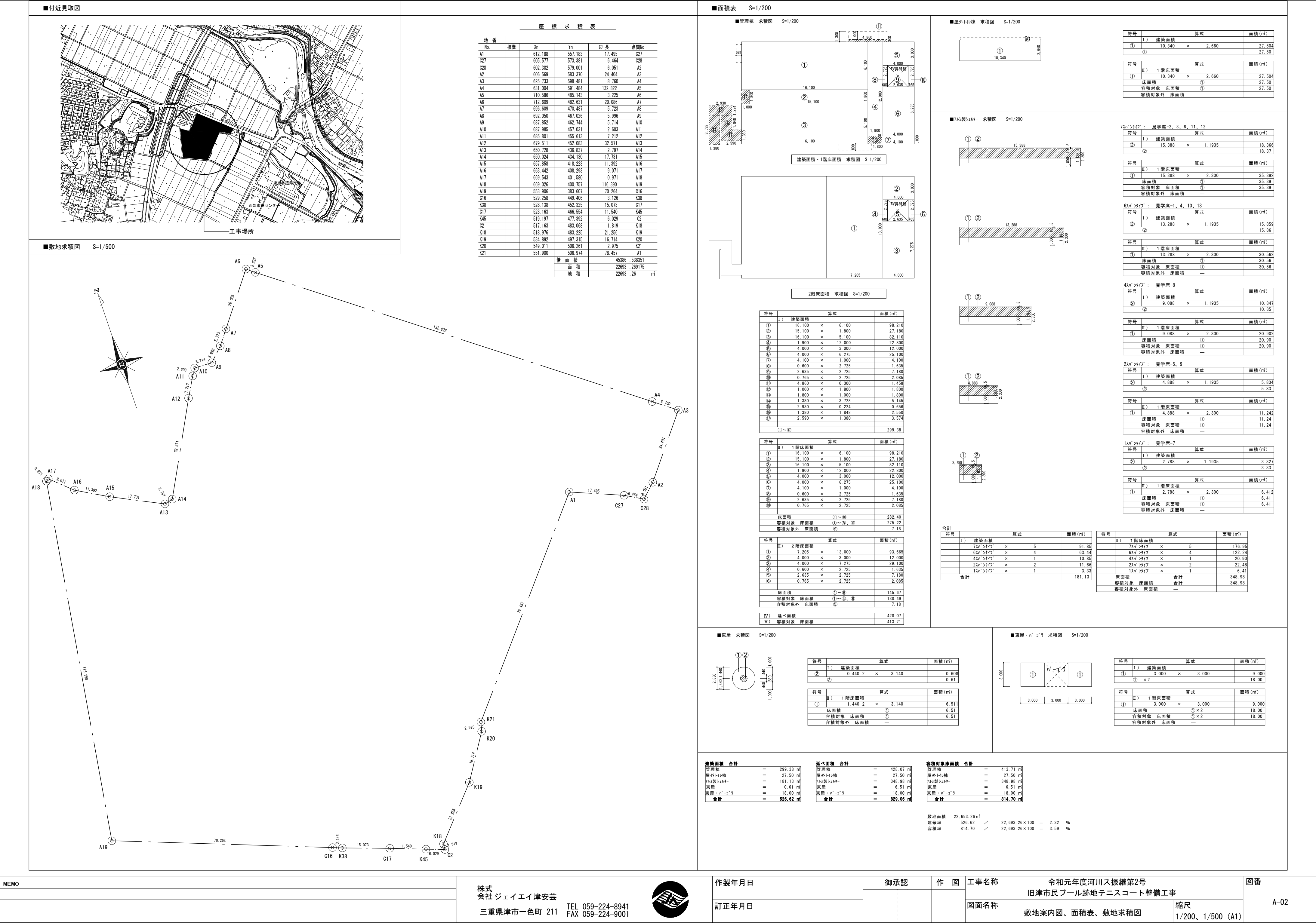
縮尺

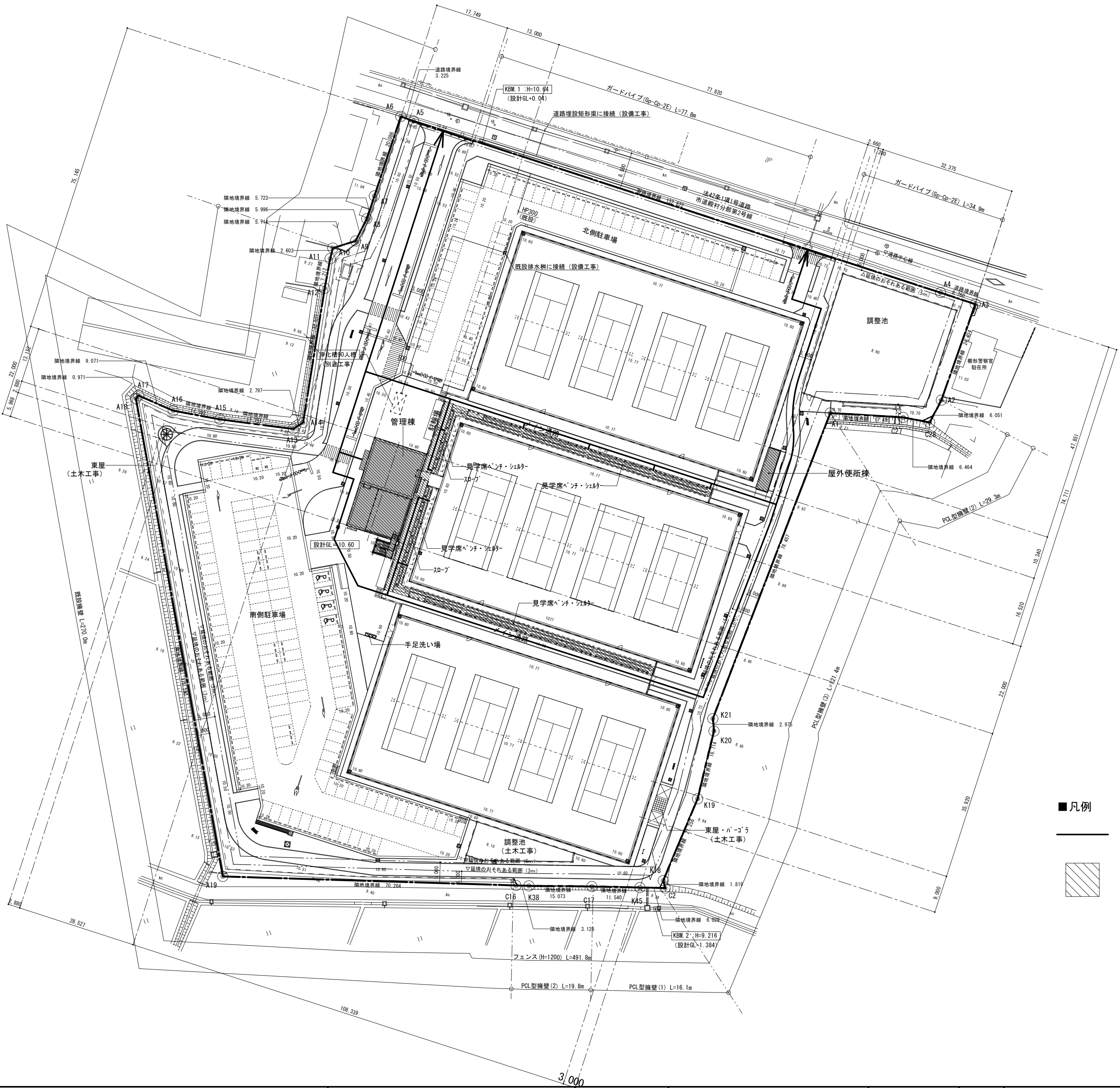
図番
T-03

[illegible]

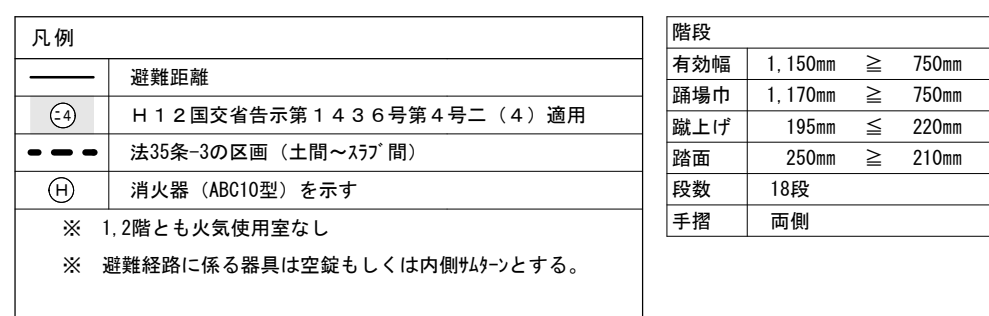
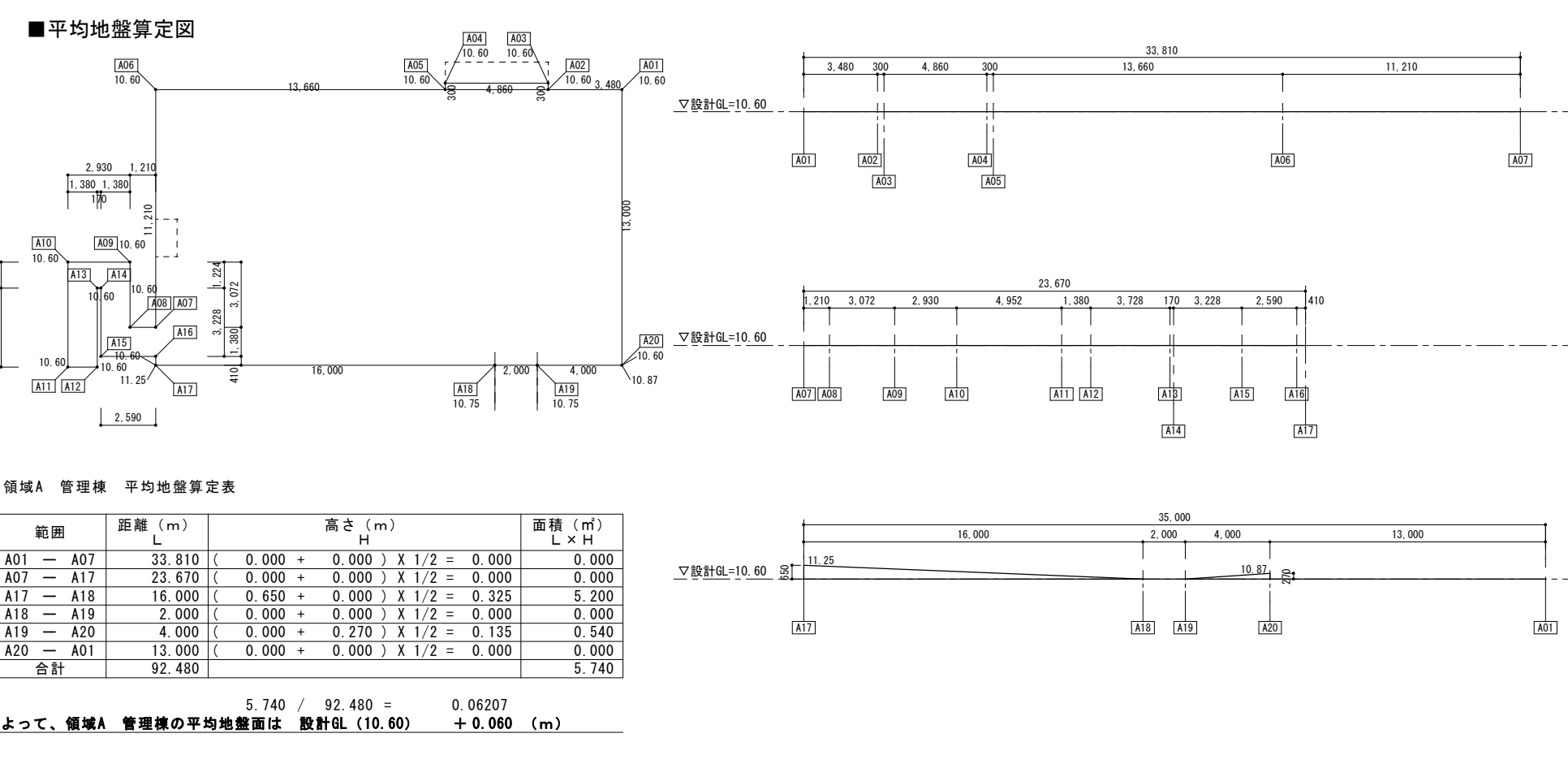
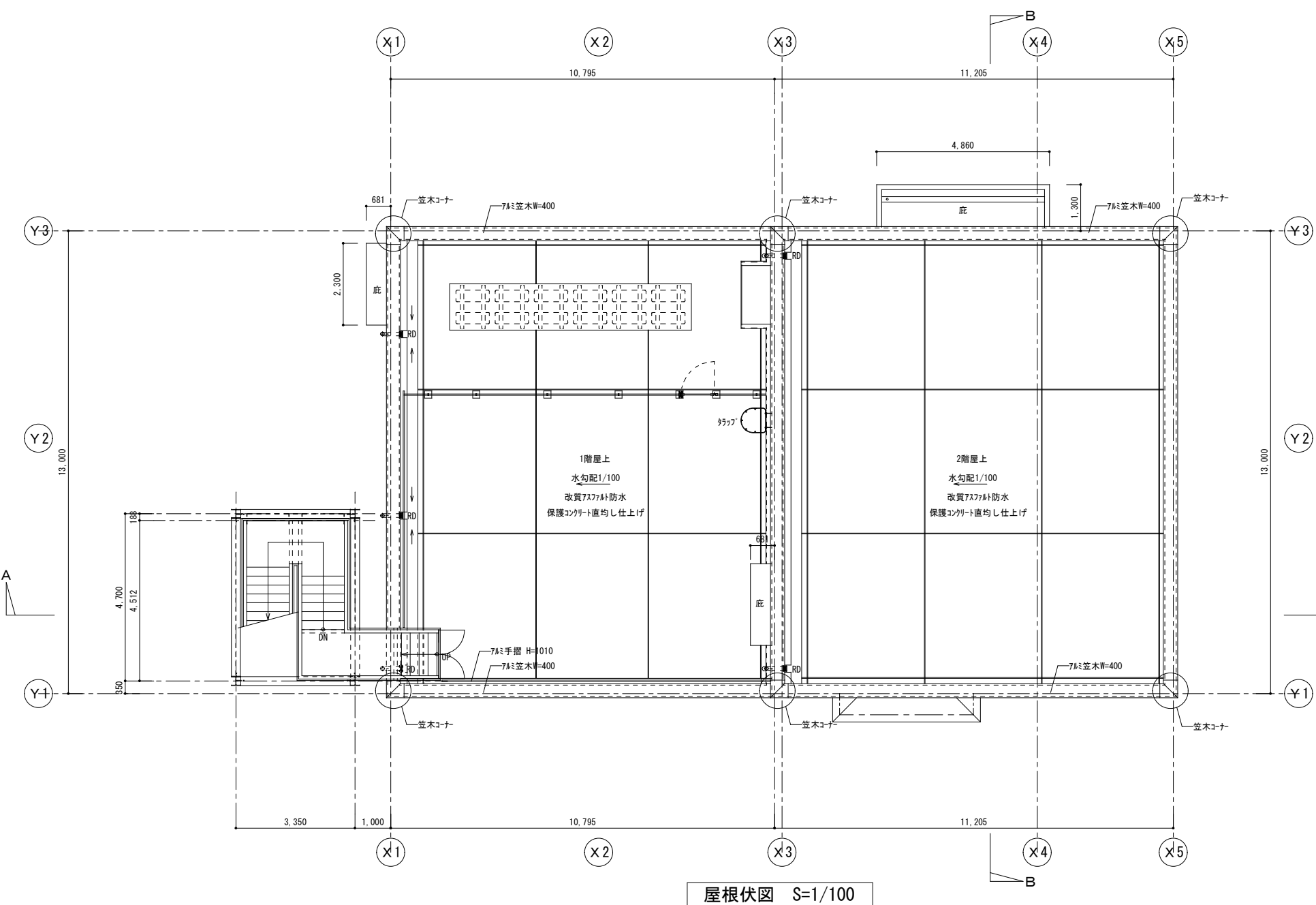
[illegible]

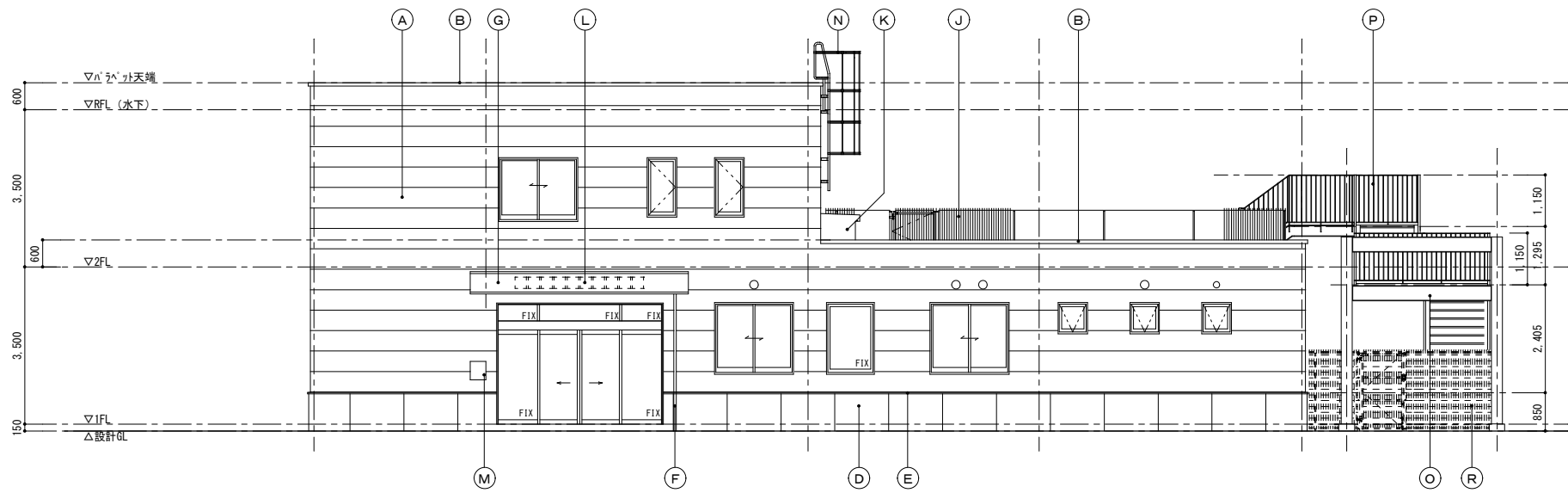
管理棟 外部仕上												不燃・準不燃材料認定番号							
屋 根	改質7A3耐防水保護コンクリート直均し仕上げ 成型伸縮目地:8'リフレフォーム製 t=25			開口部	玄関ﾄﾞｱ:7A3製 窓:7A3サッシ (7A3付処理) 扉:ｽﾌﾟｰﾙﾄﾞ (ﾌｯｽ素樹脂焼付塗装)							ｶﾞｰﾃﾞﾝ'ｸﾞﾗｽ鋼板		NM-8697					
ﾊﾞﾙｺﾞﾝ	笠木:7A3製押出材 W=400 立上り:露出7A3耐防水								せっこうｶﾞｰﾄﾞ t=12.5		NM-8619								
ﾙｰﾌﾄﾚｲﾝ	鉄鉄製ﾙｰﾌﾄﾚｲﾝφ100 横引き								化粧せっこうｶﾞｰﾄﾞ t=9.5		NM-1864								
壁 樋	硬質ｶﾞｰﾐ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 φ100 (ｶﾞｰ-) 掘み金物:SUS製 既製品 φ1200				断熱材 屋根:硬質ｸﾞﾗｽﾌｫｰﾑ t=35 外壁:ｸﾞﾗｽｸﾞ-424kg/m3 t=100 充填 土間下:硬質ｸﾞﾗｽﾌｫｰﾑ t=30 その他 ｺﾝｸﾘｰﾄ立上り・設備ﾊﾞｲﾍﾞﾙ・軒裏・出窓等:ﾛｯｸウｰﾙ t=25 吹付				不燃せっこうｶﾞｰﾄﾞ + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ (不燃)		NM-3991、3992								
外 壁	窯業系ｷﾞｲﾝｸﾞ t=16 横張 (通気工法)																		
軒 裏	ｸﾞｲｽﾞ板 t=8 NAD																		
巾 木	化粧合板型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 誘発目地φ1,200 撥水剤塗布																		
ｷﾞﾗﾋﾞｰ	耐火野地板t=12 屋根:FRP防水 軒裏:7A3ﾊﾞﾝﾄﾞﾙ																		
底	7A3製 既製品 D=600 W=2,300																		
																※ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ等は防災物品とする。			
■内部仕上表																			
階	室 名	床			巾 木		壁			天 井					室名札	備 考			
		FL	下 地	仕 上	仕上 高さ	下 地	仕 上	柱 型	下 地	仕 上	梁 型	廻 縁	天井高						
管理棟																			
1 階	玄関	FL±0	RC	ｷﾞﾗﾌﾞﾚ'ﾗﾝｸﾞ t=17 + 防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	—	SUS製玄関ﾏｯﾄ ﾉｽﾀｯﾌﾟﾀｲﾌﾟ 1,500×900				
	階段下倉庫	FL-20	—	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し+塗床仕上げ	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 NAD	—	—	階段裏表し SOP	—	—	直天	○	—				
	ﾋﾞﾆｰ 休憩ｺｰﾅｰ	FL±0	RC	ｷﾞﾗﾌﾞﾚ'ﾗﾝｸﾞ t=17 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○ (休憩ｺｰﾅｰ)	案内版 (ﾋﾞﾆ-) W1100×H1100、ﾏｯﾁｯﾄ掲示板 (ﾋﾞﾆ-) W1800×H900 7A3製ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞｶﾞｰｯｽ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ (休憩ｺｰﾅｰ)				
	廊下 通用口	FL±0	RC	ｷﾞﾗﾌﾞﾚ'ﾗﾝｸﾞ t=17 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ 一部:GB-R t=12.5×2 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	—	消火器、消火器ｷﾞｯｽ				
	事務室	FL±0	RC	OA707- H=50 + ｸﾞﾗｽ-ﾊﾞｯﾄ t=6.5 (帯電防止)	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○	受付ｶｳﾝﾀｰ、7A3製ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞｶﾞｰｯｽ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ｷｰｶﾞｰｯｽ:ｽﾌﾟｰﾙ製 W:317・D:124・H:310 ﾘﾝｷｰﾀｲﾌﾟ				
	湯沸ｺｰﾅｰ	FL±0	RC	ｷﾞﾗﾌﾞﾚ'ﾗﾝｸﾞ t=17 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-S t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	GB-S t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	—	ﾐﾆｷｬｯｼﾝ L=1,200 厚ﾀｲﾌﾟ、7A3製ｷｰﾅｰﾙ				
	医務室	FL±0	RC	ｷﾞﾗﾌﾞﾚ'ﾗﾝｸﾞ t=17 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 (抗菌ﾀｲﾌﾟ)	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ (不燃) GB-S t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ (不燃)	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ (不燃)	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ (不燃)	—	塩ビ製	2.700	○	ﾐﾆｷｬｯｼﾝ L=900 扉ﾀｲﾌﾟ、製氷機 (設備工事) 7A3製ｷｰﾅｰﾙ				
	男子更衣室 女子更衣室	FL+100 (踏込:FL±0)	RC	FF H=100 +合板t=12 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ ｼｬｰﾌﾞｰｽ前室:GB-S t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ 一部:GB-R t=12.5×2 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.600	○	ﾗｲﾝｸﾞ天端:ｶﾞｰｽﾄﾌｫｰﾑ t=20、ｼｬｰﾌﾞｰｽ前室0809ﾀｲﾌﾟ 7A3製ｷｰﾅｰﾙ、SUS製上櫃H=100、ｼｬｰﾌﾞｰｽ前室等壁:GB-S t=12.5 ﾛｯｶｰ (男女更衣室とも) 六人用:SLBD-6-S2×6ｾﾞｯｽﾞ				
	障がい者用更衣室	FL±0	RC	ｷﾞﾗﾌﾞﾚ'ﾗﾝｸﾞ t=17 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=300	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○	—				
	男子便所	FL±0	RC	ｷﾞﾗﾌﾞﾚ'ﾗﾝｸﾞ t=17 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 (防汚ﾀｲﾌﾟ)	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-S t=12.5 + ﾏﾞｼﾞﾝ化粧板 t=3.0 一部:GB-S t=12.5×2+ ﾏﾞｼﾞﾝ化粧板 t=3.0 (GW=24kg/m3 t=50 充填)	GB-S t=12.5 + ﾏﾞｼﾞﾝ化粧板 t=3.0 (GW=24kg/m3 t=50 充填)	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○	ﾄｲﾚﾌｰｽ:高圧ﾌｻｼﾝ化粧合板ﾌﾗｯｼｬ t=40 ﾗｲﾝｸﾞ天端:ｶﾞｰｽﾄﾌｫｰﾑ t=20 汚重ﾀｲﾙ:TOTOnｲﾄﾞﾋﾞﾀﾞﾌﾞ				
	女子便所	FL±0	RC	ｷﾞﾗﾌﾞﾚ'ﾗﾝｸﾞ t=17 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 (防汚ﾀｲﾌﾟ)	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-S t=12.5 + ﾏﾞｼﾞﾝ化粧板 t=3.0 一部:GB-S t=12.5×2+ ﾏﾞｼﾞﾝ化粧板 t=3.0 (GW=24kg/m3 t=50 充填)	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○	ﾄｲﾚﾌｰｽ:高圧ﾌｻｼﾝ化粧合板ﾌﾗｯｼｬ t=40 ﾗｲﾝｸﾞ天端:ｶﾞｰｽﾄﾌｫｰﾑ t=20				
	多目的便所	FL±0	RC	ｷﾞﾗﾌﾞﾚ'ﾗﾝｸﾞ t=17 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5 (防汚ﾀｲﾌﾟ)	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=300	LGS	GB-S t=12.5 + ﾏﾞｼﾞﾝ化粧板 t=3.0 (GW=24kg/m3 t=50 充填)	GB-S t=12.5 + ﾏﾞｼﾞﾝ化粧板 t=3.0 (GW=24kg/m3 t=50 充填)	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	○	ﾗｲﾝｸﾞ天端:ｶﾞｰｽﾄﾌｫｰﾑ t=20				
倉庫	FL-20	—	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し+塗床	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 NAD	GB-R t=12.5 NAD	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.720	○	—					
2 階	廊下	FL±0	RC	ｷﾞﾗﾌﾞﾚ'ﾗﾝｸﾞ t=17 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.700	—	—				
	会議室 (1) 会議室 (2) 会議室 (3)	FL±0	RC	ｷﾞﾗﾌﾞﾚ'ﾗﾝｸﾞ t=17 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ﾋﾞﾆﾙ幅木 H=60	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	LGS	GB-R t=9.5 + DR t=12	—	塩ビ製	2.700	○	7A3製ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞｶﾞｰｯｽ、ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、会議室 (1):出窓縁板:ﾌｻｼﾝ化粧板 t=30 会議室 (2):移動間仕切 遮音ﾀｲﾌﾟ (表面化粧鋼板仕上) 会議室 (3):ﾐﾆｷｬｯｼﾝ L=900 扉ﾀｲﾌﾟ				
	共通	階段	—	S	ｷﾞﾗｽ金ｺﾞ t=37 + ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5	ｷﾞﾗｽ桁鉄部 SOP	LGS	GB-R t=12.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾞﾗｽ	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	—	—	SUS製ﾌｻｼｯﾌﾟ W=40 ｺﾞﾑ入り 樹脂製手摺 φ34、階数表示 点字ﾀｲﾙ 300×300			
																※内装仕上材は全てF☆☆☆☆以上とする。 ※石綿含有建材は使用しない。			
表示 略号	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	OS	オイルステイン塗り	ALC	軽量気泡コンクリートパネル	GB-R	せっこうボード	RW	ロックウール	SLF	均しモルタル (セルフレベリング工法)							
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	OSV	オイルステインワニス塗り	ECP	押出成形セメント板	GB-F	強化せっこうボード	GW	グラスウール吸音材	FF	乾式遮音二重床ﾌｻｼﾔﾅﾊﾞｰﾅｲｸﾙ'ﾄﾞ t=20							
	EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り	B-AE	アクリル樹脂系統付塗装	RC	鉄筋コンクリート	GB-S	シージングせっこうボード	FB	フラットバー	SP	スチールパーティション							
	OP	油性調合ペイント塗り	DP	耐候性塗料塗り	S	鉄骨	GB-D	化粧せっこうボード	HL	ヘアライン仕上げ	TB	トイレブース (メラミンフラッシュ)							
	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	WP	木製保護塗料塗り	LC	軽量コンクリート	GB-NC	不燃積層せっこうボード	VU	硬質塩化ビニル管 (薄肉管)	CR	カーテンレール							
	FE	フタル酸樹脂エナメルペイント塗り	LE	ラッカーエナメル塗り	GB	コンクリートブロック	GB-P	吸音用あなきせっこうボード	VP	硬質塩化ビニル管 (一般管)	AB	アルミ製暗幕ボックス							
	VE	塩化ビニル樹脂エナメルペイント塗り	NAD	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り	LGS	軽量鉄骨	GB-L	せっこうラスボード	SGP	配管用炭素鋼鋼管 (白ｽﾞｽ管)	BB	アルミ製ブラインドボックス							
	UE	ポリウレタン樹脂ペイント塗り			PC	プレキャストコンクリート	DR	ロックウール化粧吸音板	RD	ルーフトレイン									
	AE	アクリル樹脂エナメルペイント塗り			SUS	ステンレス鋼 (304) 特記無き限り	ｸﾞｲｽﾞ板	繊維混入けい酸カルシウム板	DP	堅樋									
	QL	クアラッカー塗り			ST	スチール	FPB	フォームポリスチレンボード											
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り			AL	アルミニウム	RW-B	ロックウール吸音ボード											
							GW-B	グラスウールボード											
	MEMO						株式会社 ジェイエー津安芸 三重県津市一色町 211				作製年月日 訂正年月日		御承認		作 図		工事名称 令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事 図面名称 管理棟 仕上表 (完成)		図番 A-01
						TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001										縮尺			



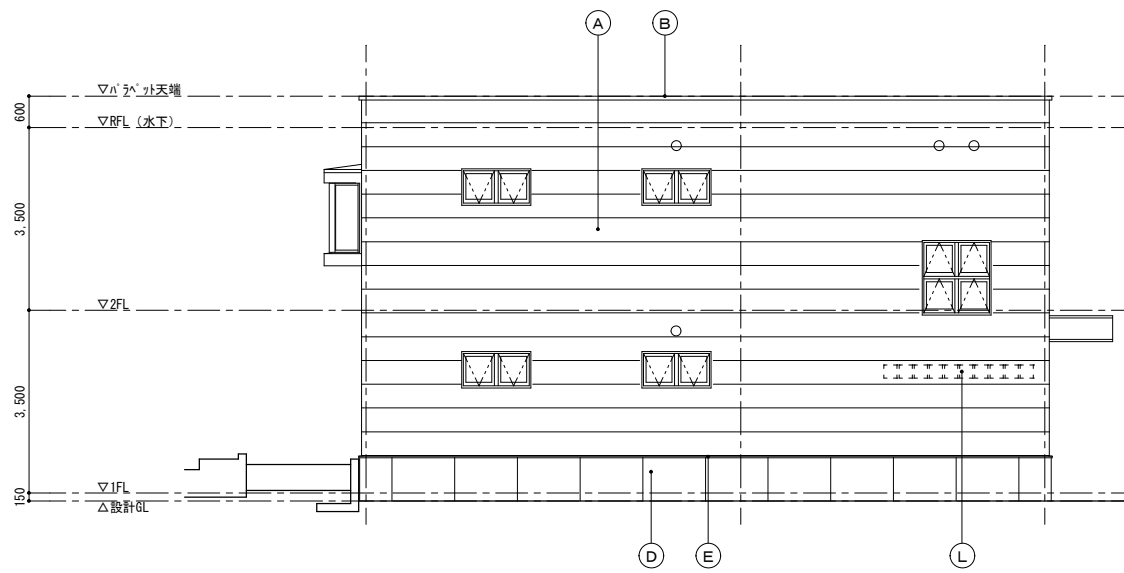


MEMO	株式会社 ジェイエー津安芸 三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001		作製年月日	御承認	作 図	令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事		図番 A-03
			訂正年月日			図面名称 配置図	縮尺 1/500 (A1)	

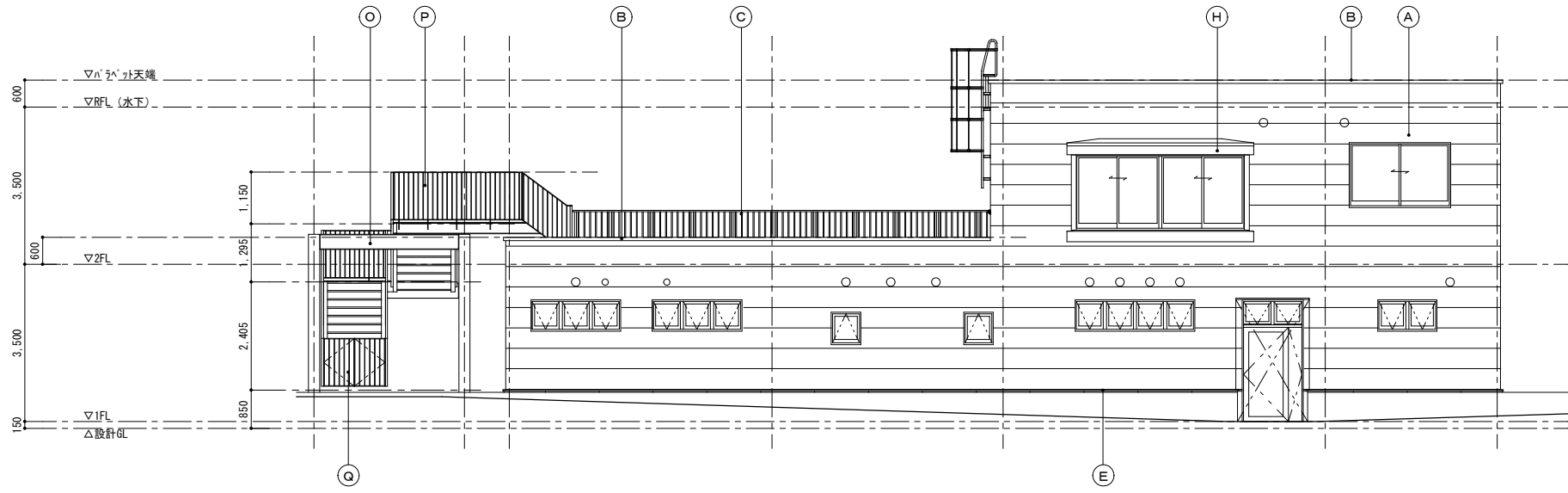




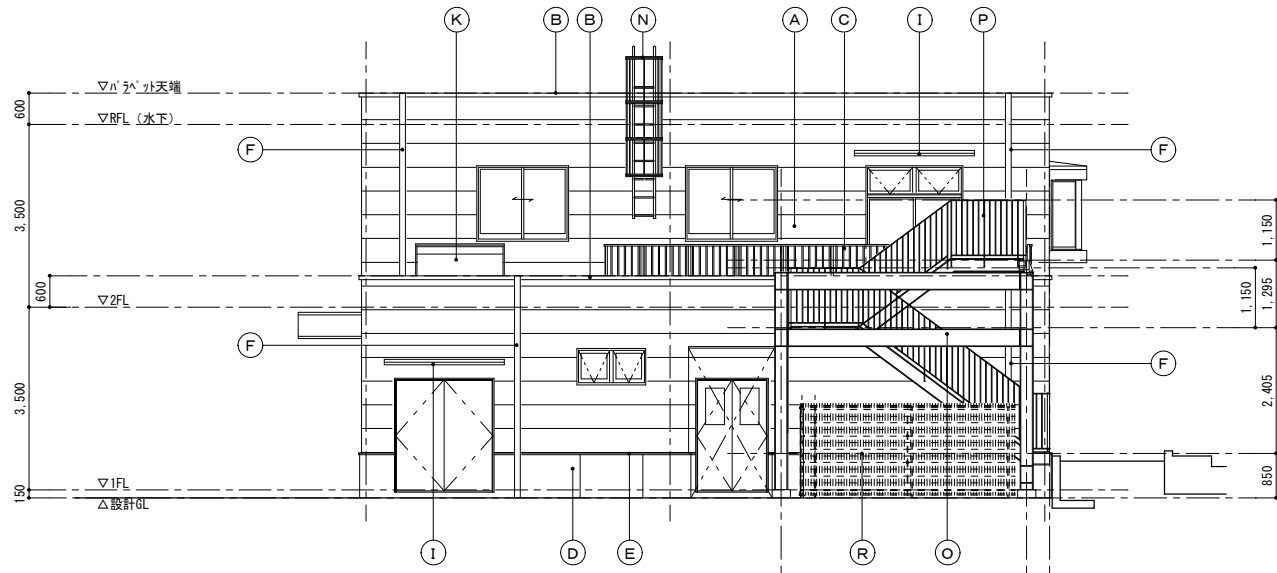
西 立面图 S=1/100



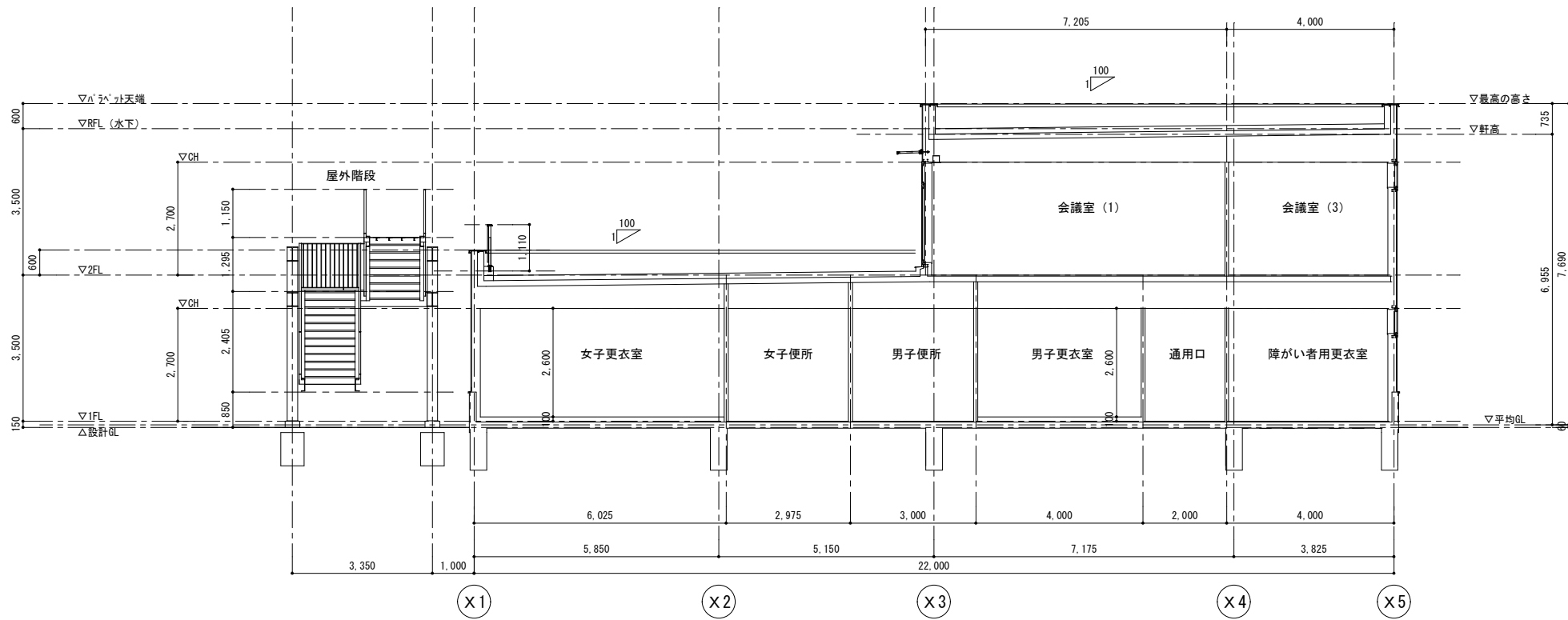
北 立面图 S=1/100



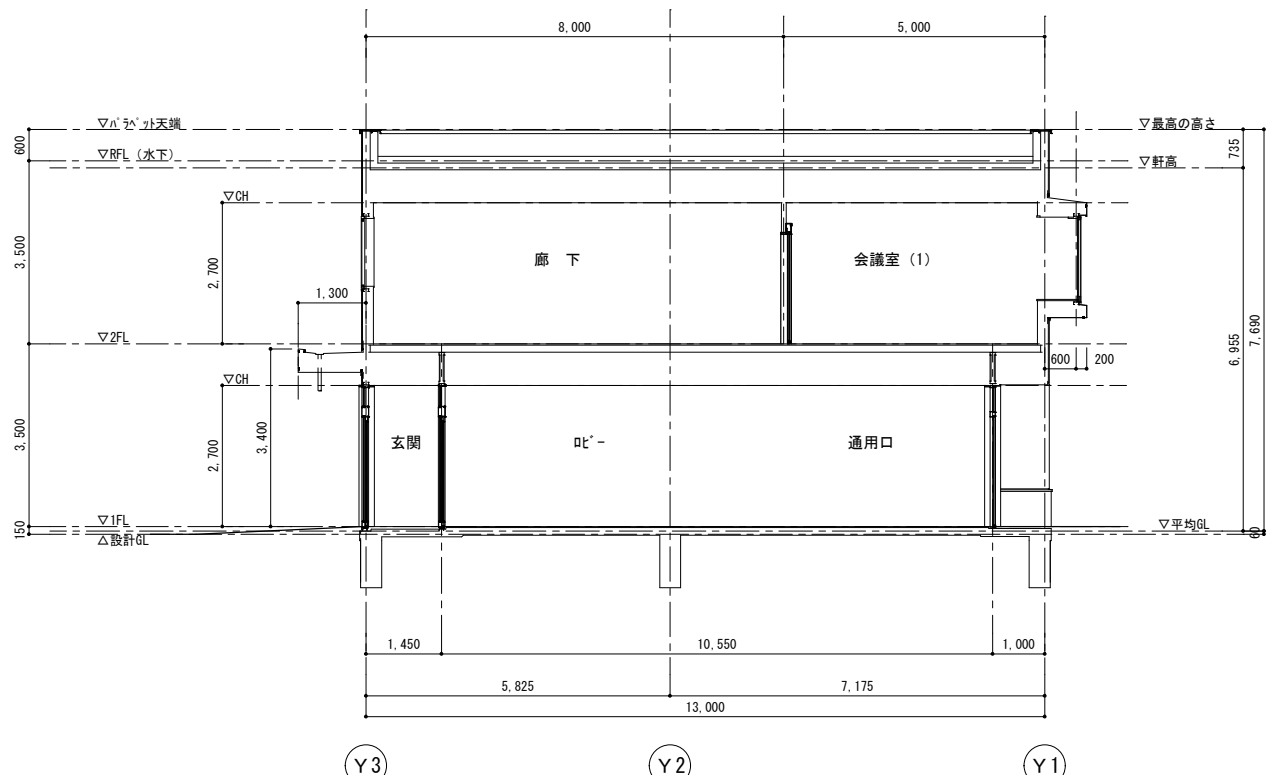
東 立面图 S=1/100



南 立面图 S=1/100



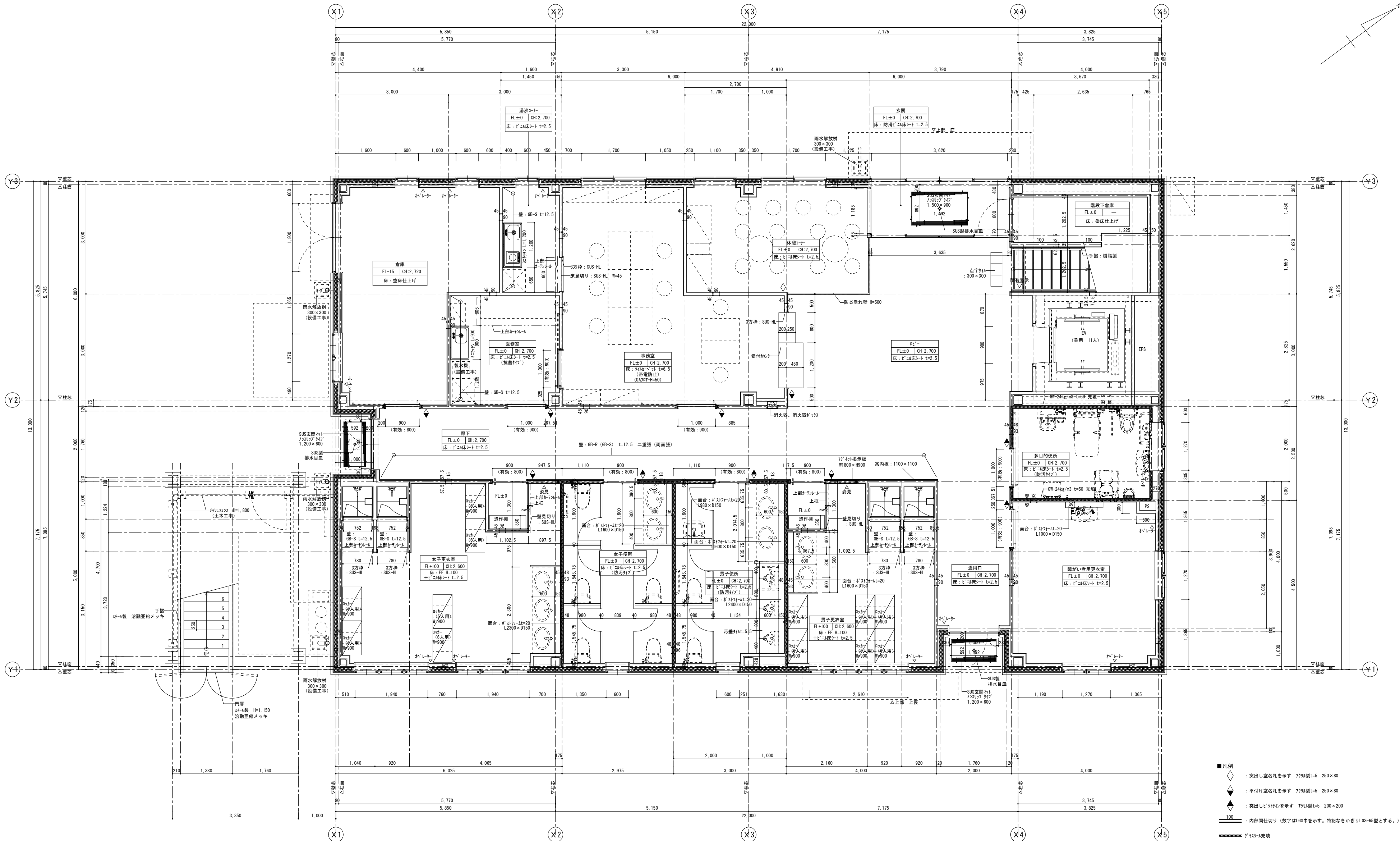
A 断面图 S=1/100



B 断面图 S=1/100

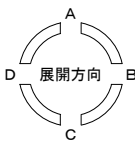
凡 例	(A)	外壁：窯業系付着型 t=16 横張（通気工法）	(J)	天井：石膏ボード H1,000 独立基礎 一部片開き門扉
	(B)	窓木：7A1製押出材 W=400	(K)	ハト小屋：化粧合板型枠コンクリート打放し 塗膜防水
	(C)	手摺：7A1製（縦格子型）H=1010	(L)	断熱板：SUS-HL 切り文字250×250
	(D)	巾木：化粧合板型枠コンクリート打放し 撥水剤塗布	(M)	郵便受け：大型J-44型
	(E)	水切り：8mm厚鋼板 t=0.35加工	(N)	SUS917P 安全ガラス付き
	(F)	壁紙：縦貫型強化ガラス管 Φ100 SUS鋼み垂物共	(O)	屋外階段：鉄骨表し 溶融亜鉛メッキ
	(G)	底：亜鉛鋼板t=1.6 フッ素焼付塗装仕上げ	(P)	手摺：2F-4製 H=1,150 溶融亜鉛メッキ
	(H)	出窓：亜鉛鋼板t=1.6 フッ素焼付塗装仕上げ	(Q)	門扉：2F-4製 H=1,150 両開き門扉
	(I)	底：7A1製 既製品 D=600 W=2,300	(R)	石膏ボード H1,800（土木工事）

MEMO	株式会社 ジェイエー津安芸 三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001		製作年月日 訂正年月日	御承認	作 図	工事名称 令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事	図番 A-05
						図面名称 管理棟 立面図、断面図	
						縮尺 1/100 (A1)	

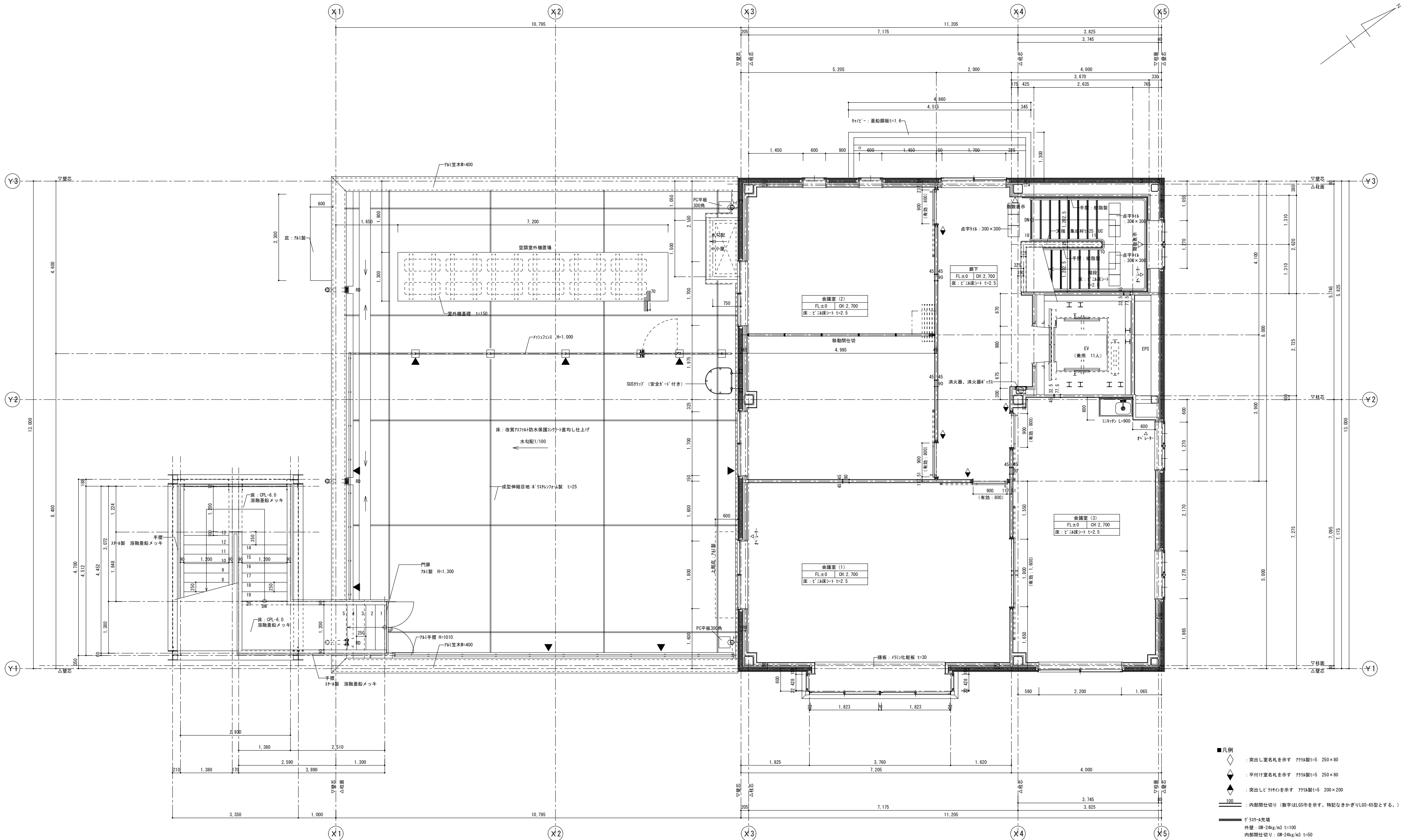


1階平面詳細図 S=1/50

- 凡例
- 突出し窓名札を示す 771A型t=5 250×80
- 平付け窓名札を示す 771A型t=5 250×80
- 突出し窓枠を示す 771A型t=5 200×200
- 内部間仕切り (数字は1.05mを示す。特記なきかぎりL65-65型とする。)
- ガラスの充填
- 外壁: 08-24kg/m³ t=100
- 内部間仕切り: 08-24kg/m³ t=50

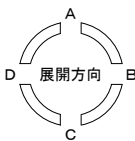


MEMO	株式会社 ジェイエー津安芸 三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001	製作年月日 訂正年月日	御承認	作 図	工事名称	図番
					令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事 管理棟 1階平面詳細図 縮尺 1/50 (A1)	

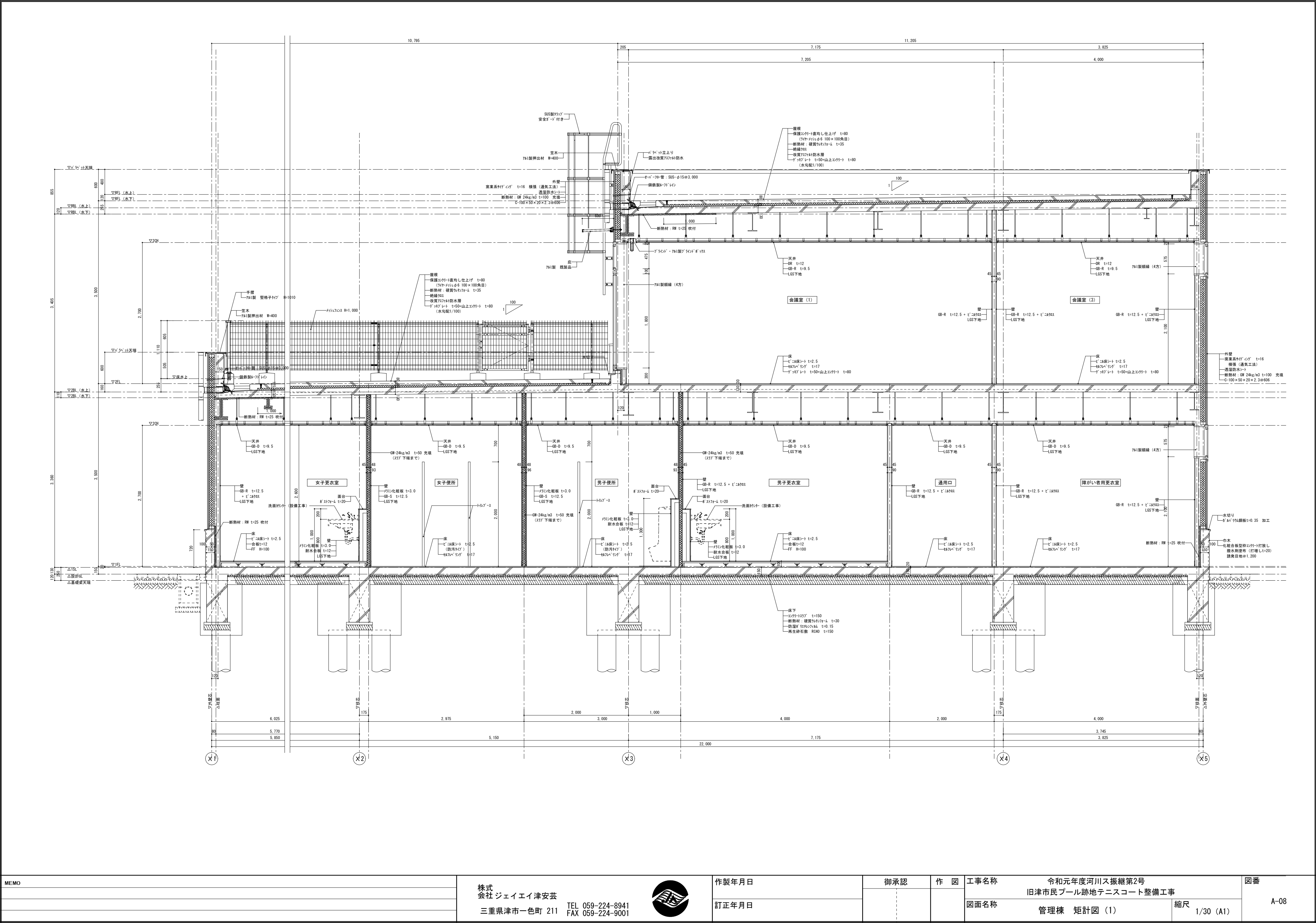


2階平面詳細図 S=1/50

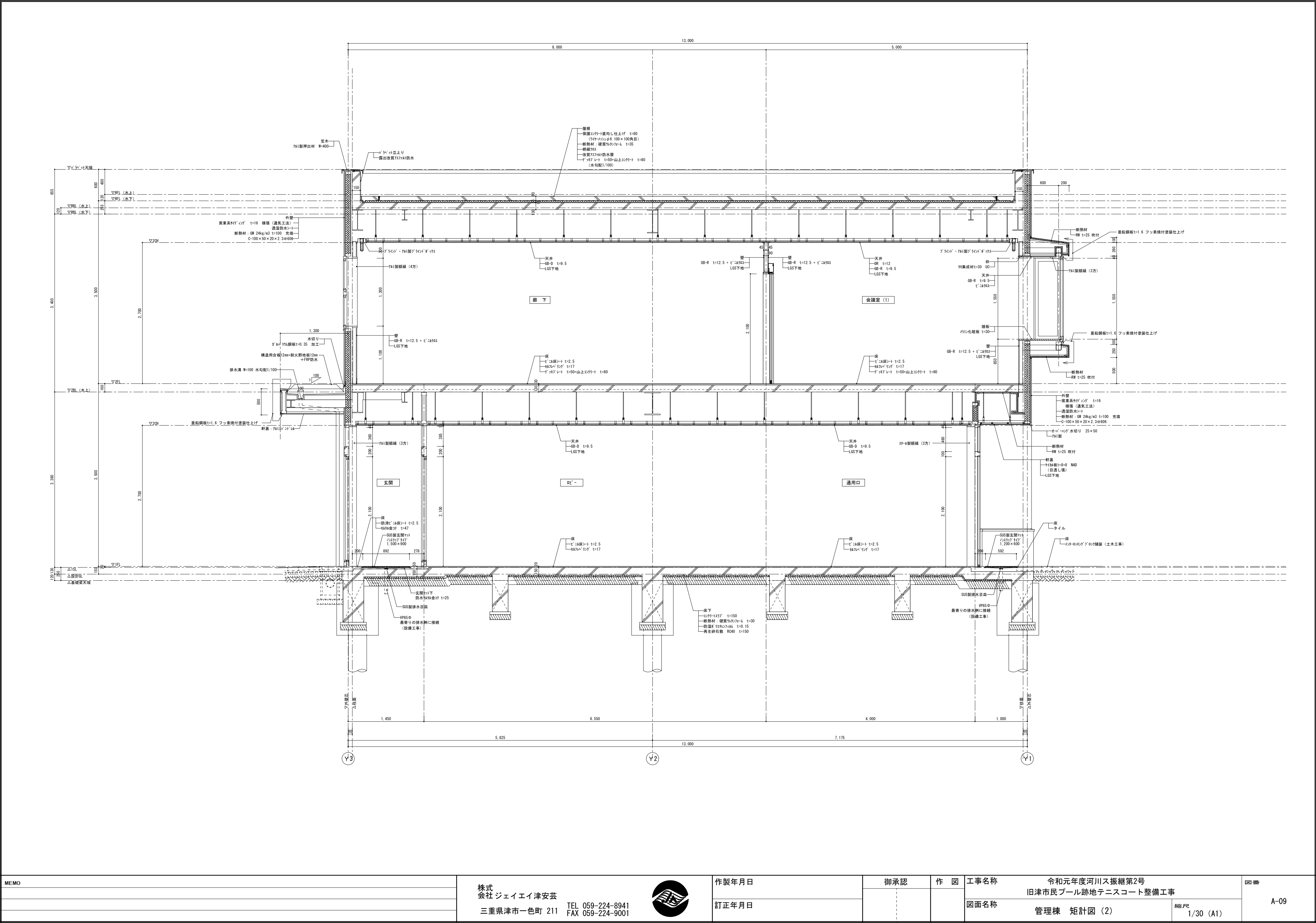
- 凡例
- ◇ : 突出し窓名札を示す 7716製t=5 250×80
 - ◇ : 平付け窓名札を示す 7716製t=5 250×80
 - ◇ : 突出し"外"枠を示す 7716製t=5 200×200
 - 100 : 内部間仕切り (数字はLGS巾を示す。特記なきかぎりLGS-65型とする。)
 - 〃520-4既設
外壁 : 08-24kg/m² t=100
内部間仕切り : 08-24kg/m² t=50
 - ▼ : 丸型 ステンレス製φ19内径100



MEMO	株式会社ジェイエー津安芸	作製年月日	御承認	作 図	工事名称 令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事	図番 A-07
	三重県津市一色町 211	訂正年月日			図面名称 管理棟 2階平面詳細図 縮尺 1/50 (A1)	

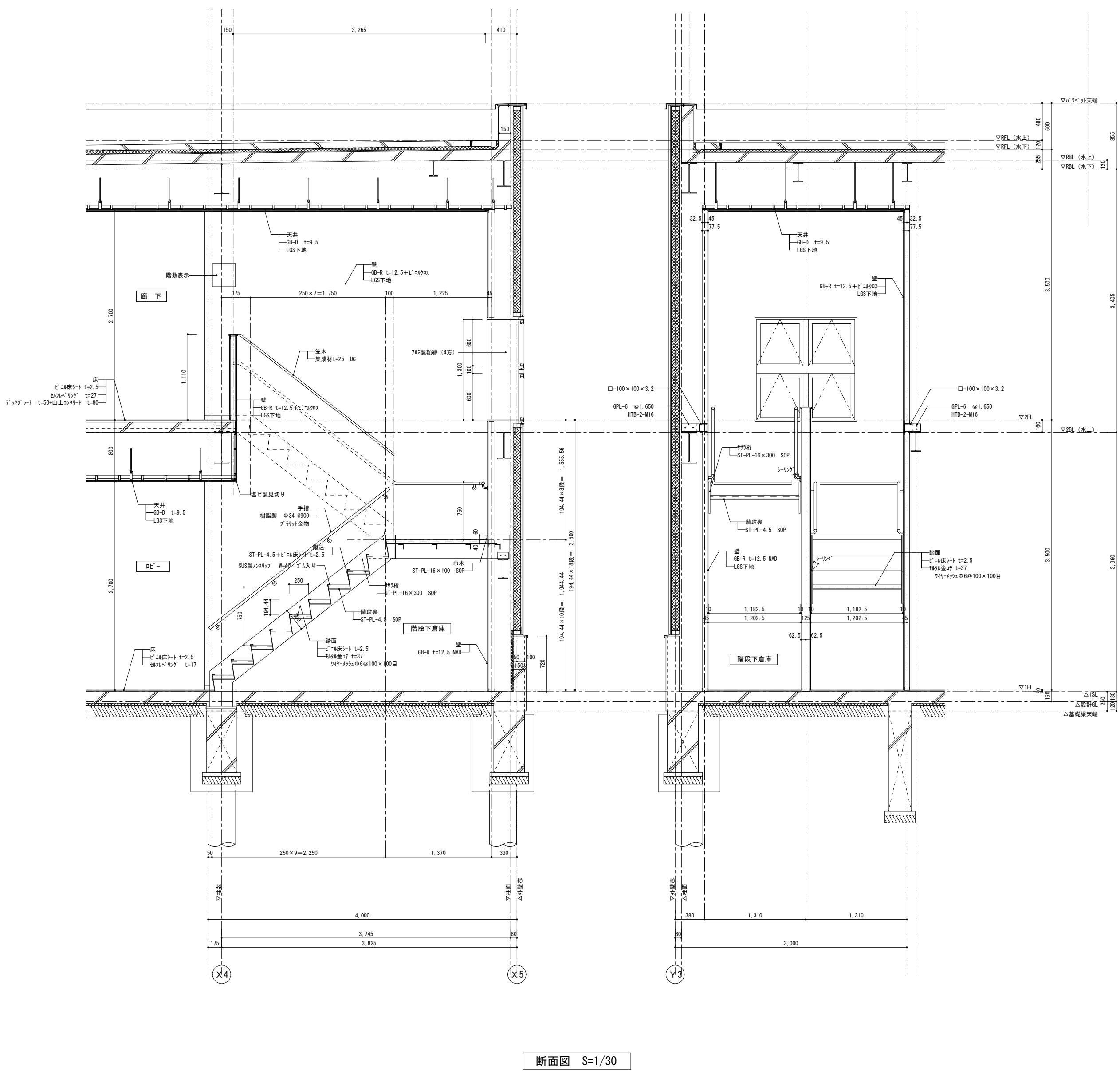
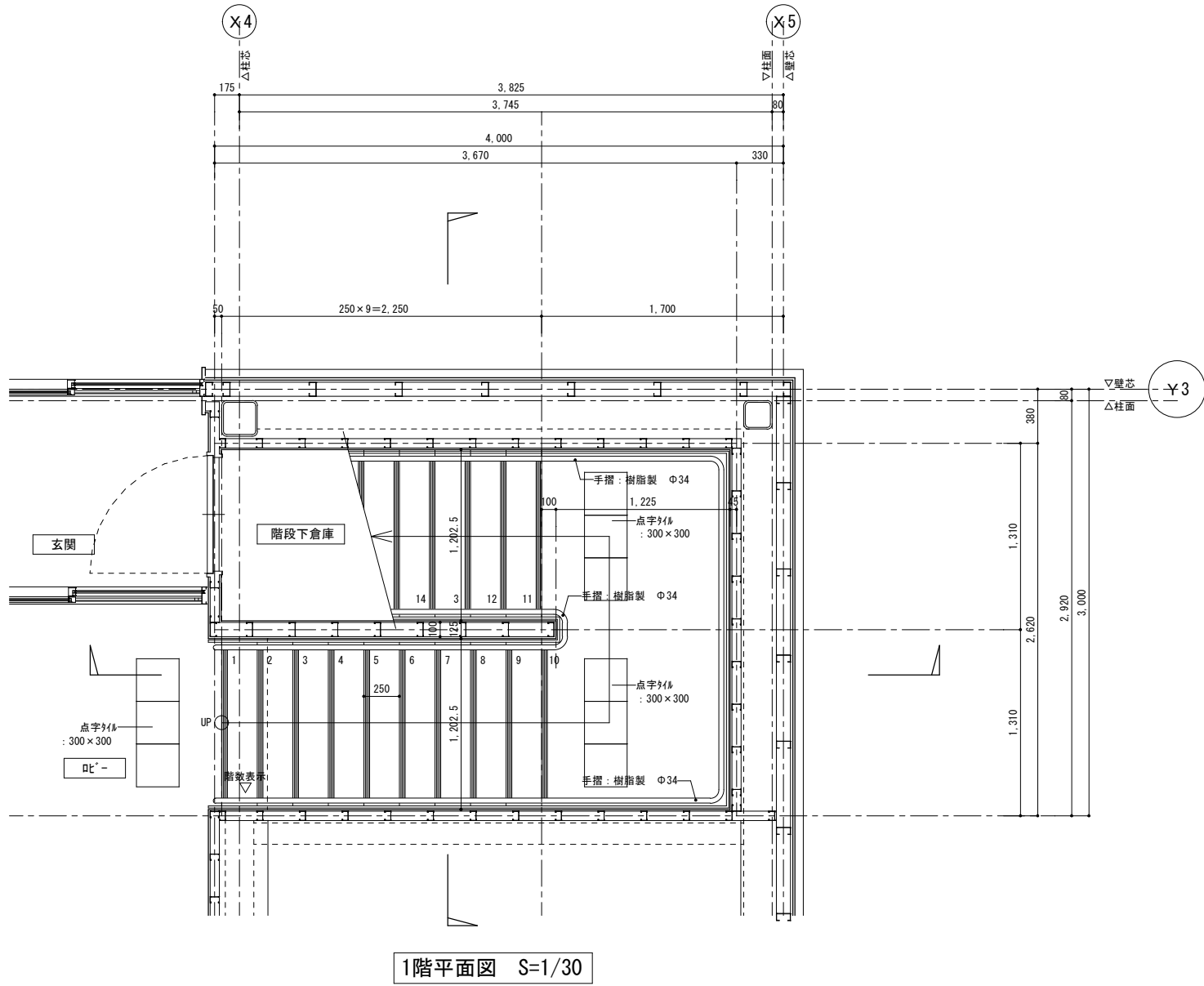
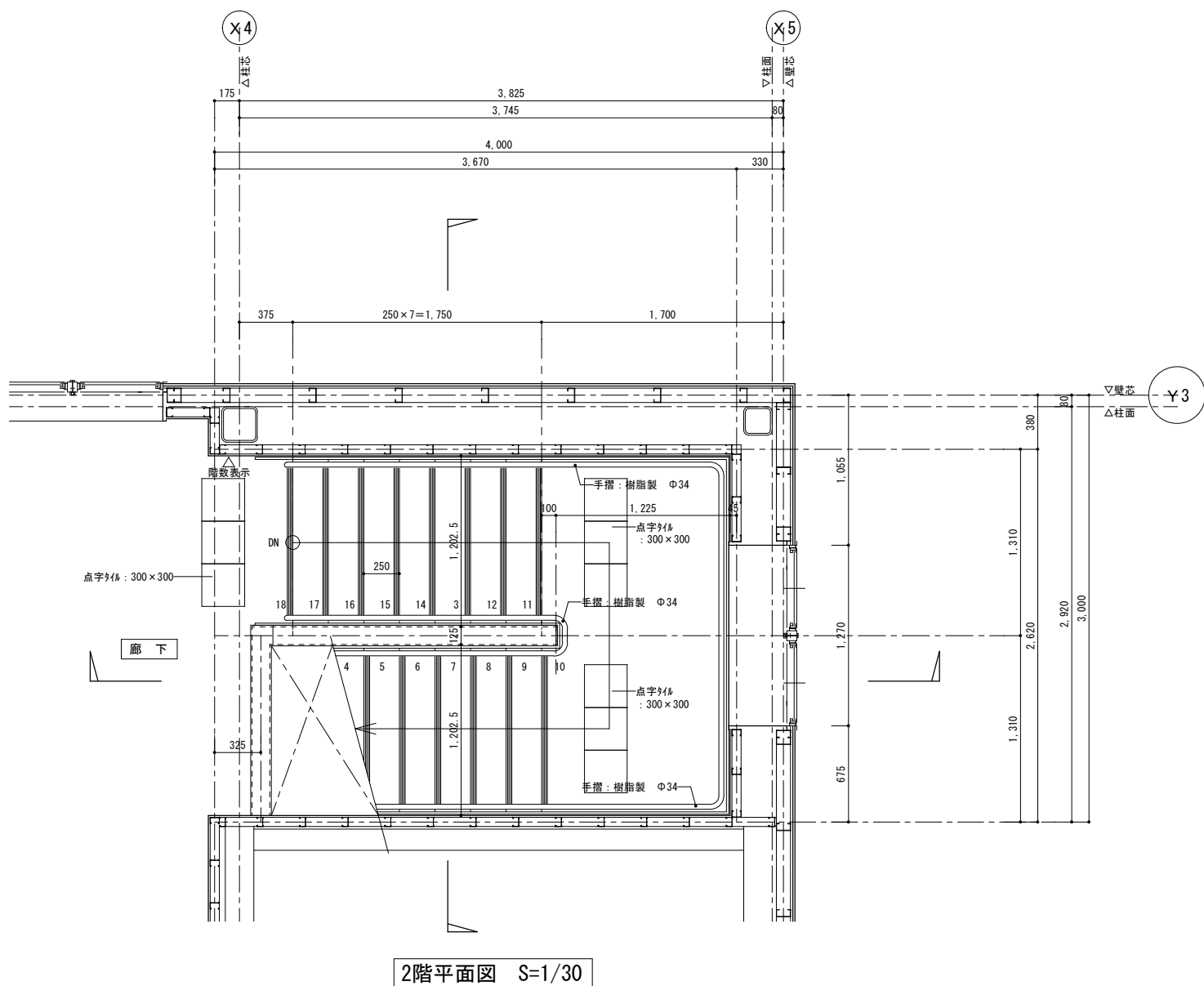


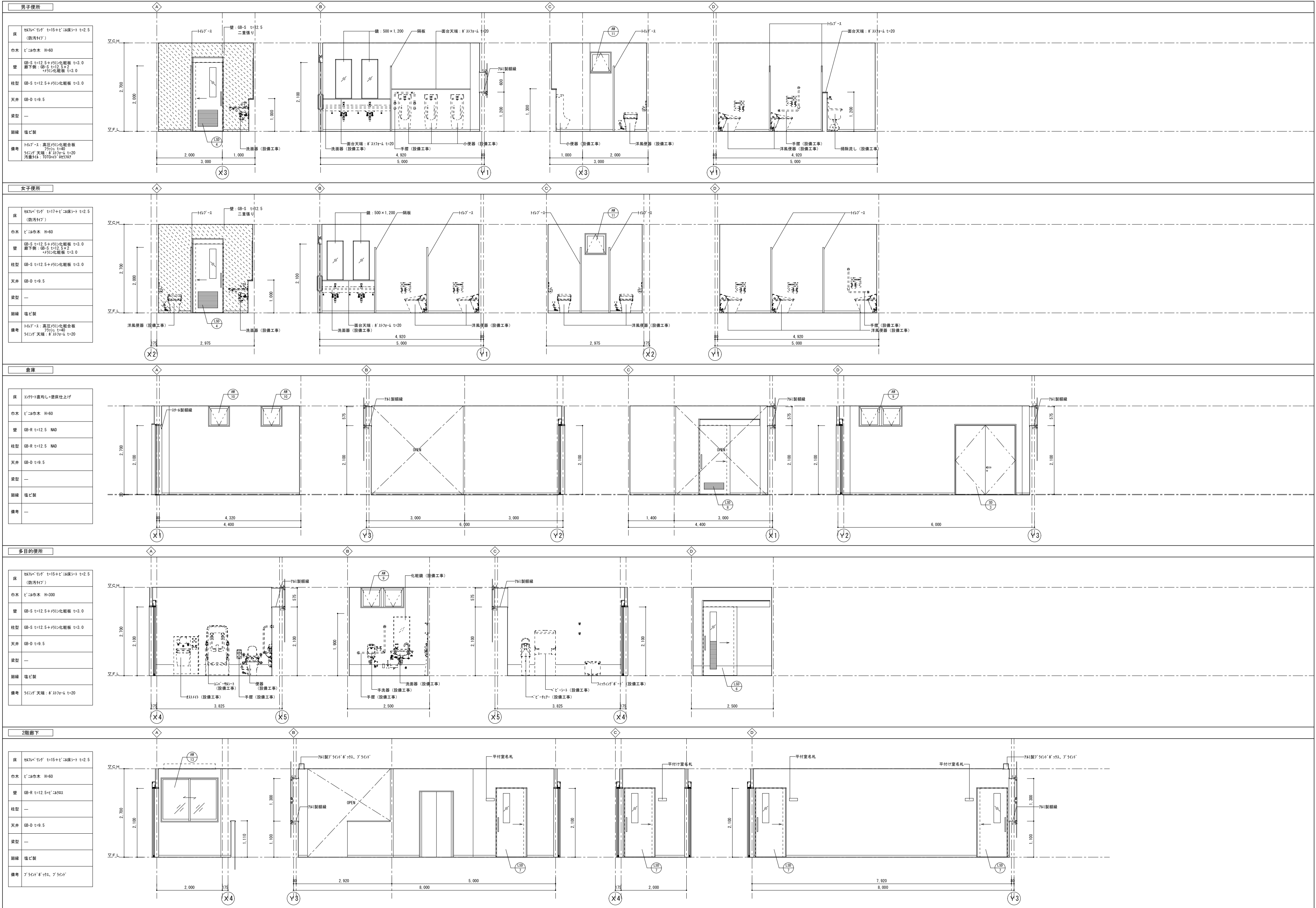
MEMO	株式 会社 ジェイエイ津安芸 三重県津市一色町 211	TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001		作製年月日 訂正年月日	御承認	作 図	工事名称	図面名称	縮尺	図番
							令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事			
							管理棟 矩計図 (1)	1/30 (A1)		A-08

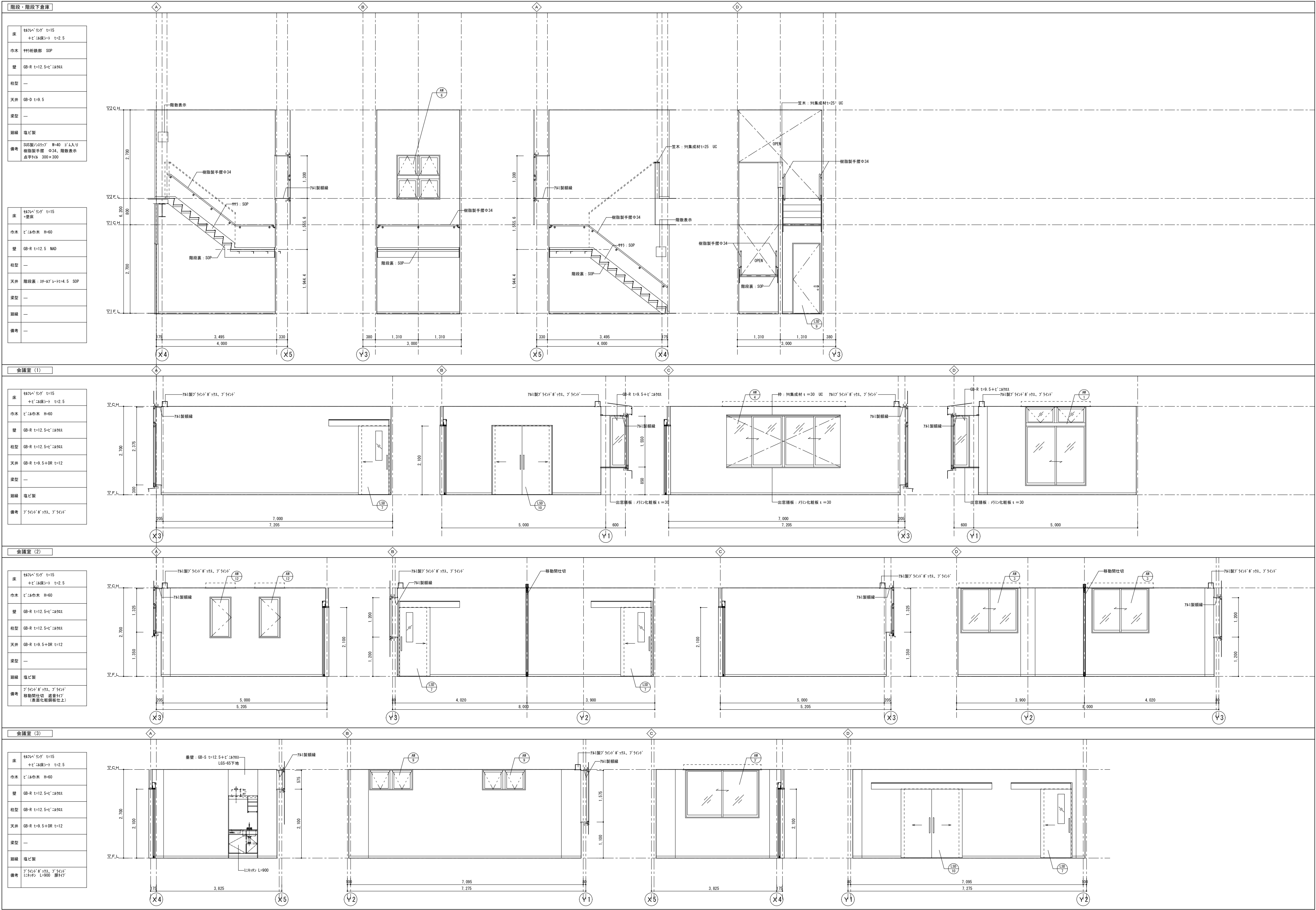


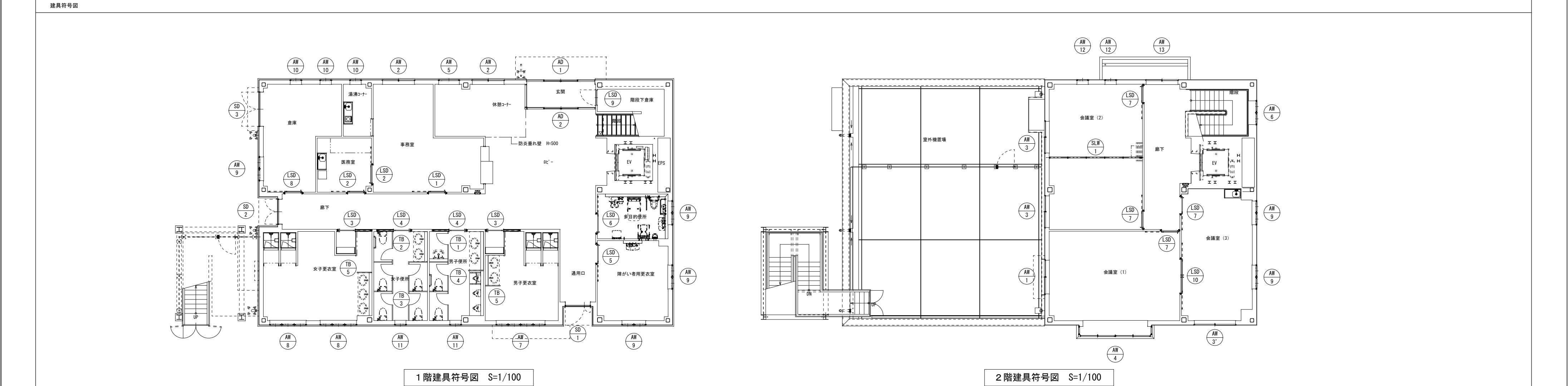
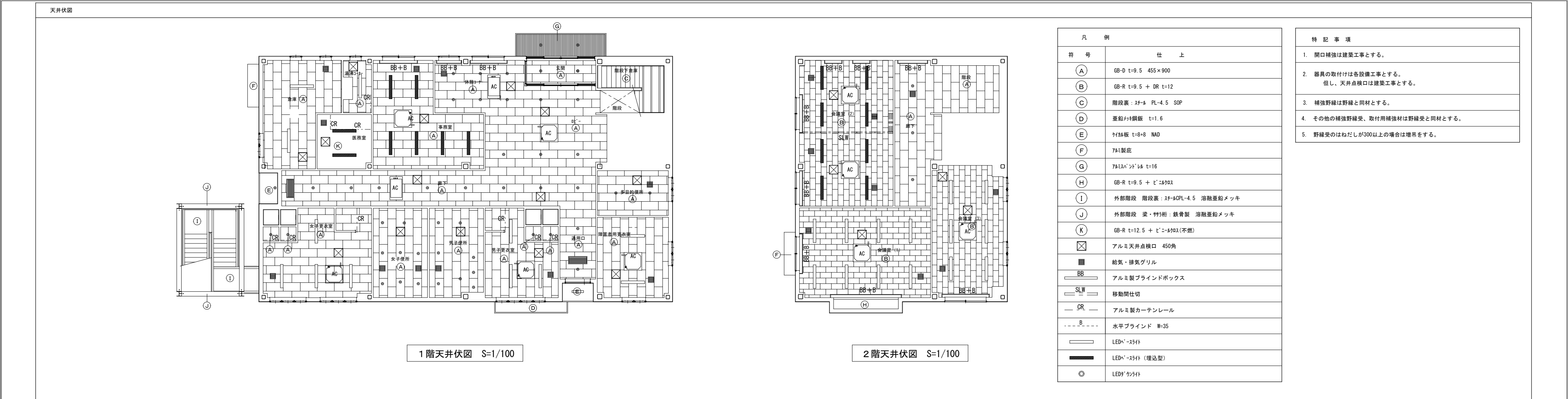
MEMO	株式会社 ジェイエー津安 三重県津市一色町 211 TEL 059-224-8941 FAX 059-224-9001		作製年月日 訂正年月日	御承認	作 図	工事名称	令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事	図番 A-09
						図面名称		
						管理棟 矩計図 (2)		

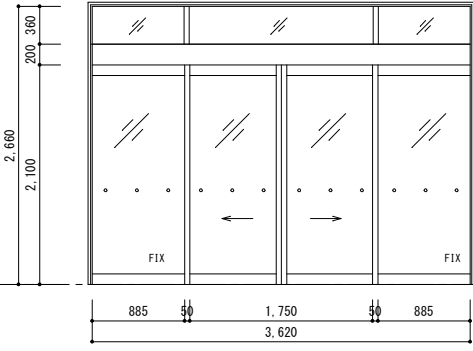
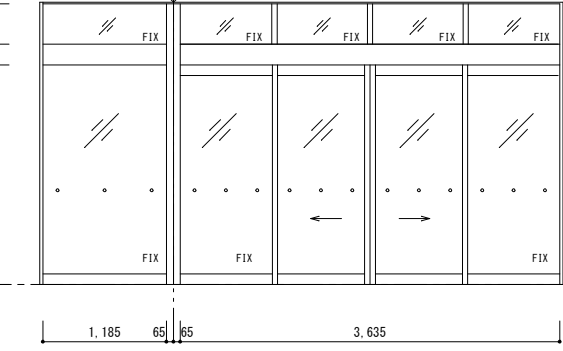
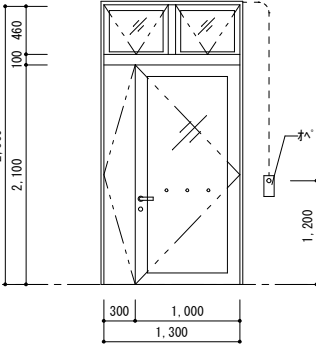
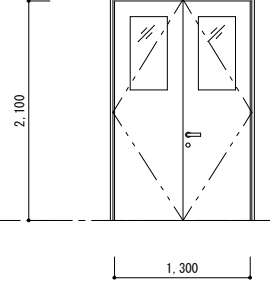
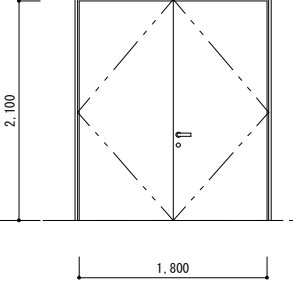
縮尺
1/30 (A1)







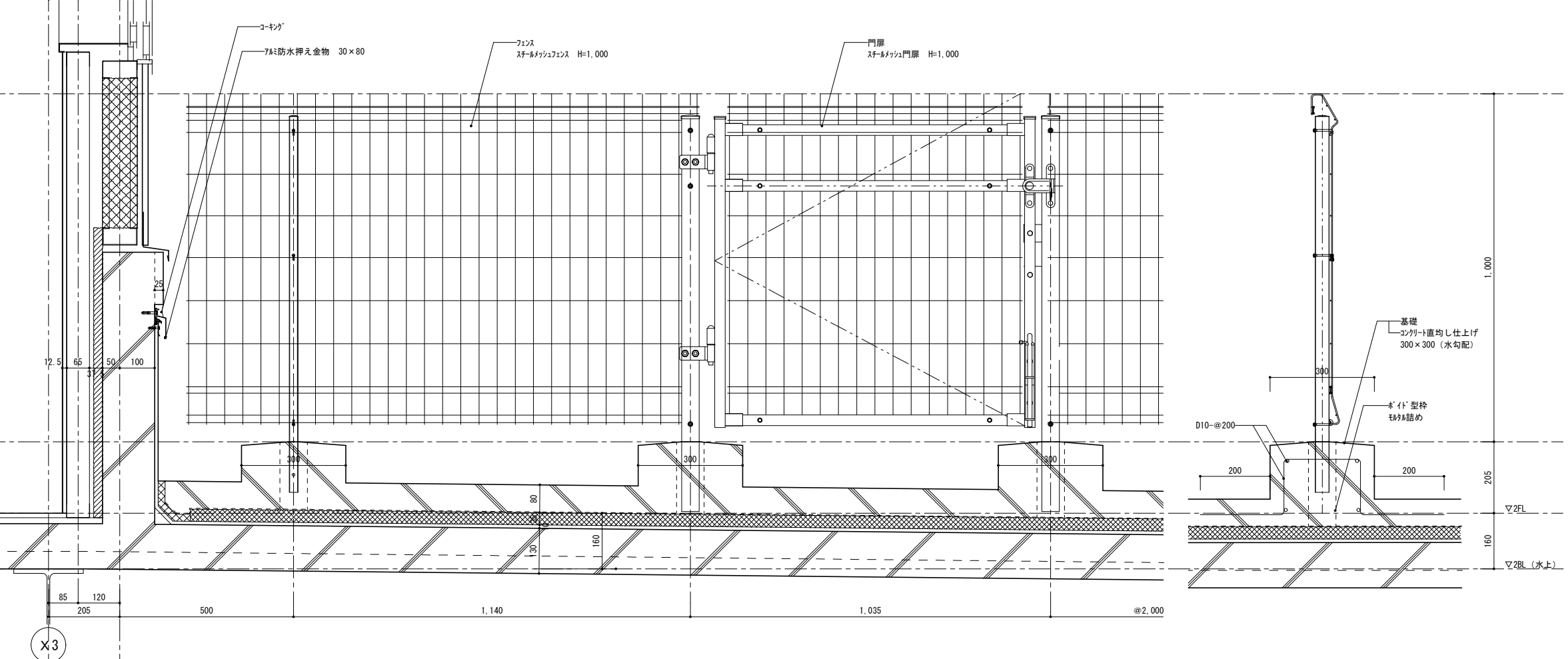


符号・形式	AD 1	AD 2	SD 1	SD 2	SD 3		
建具名称 (内装図を参照) 縮尺=1/50	スリット7、FIX、欄間FIX	スリット7、FIX、欄間FIX	両開き框戸、排煙内倒し窓	両開きフラスコ戸	両開きフラスコ戸		
FL							
位置・数量	玄関 1	玄関 1	通用口 1	廊下 1	1階 倉庫 1		
尺 法	枠: 100 扉: 40	枠: 100 扉: 40	枠: 80 扉: 40	枠: 80 扉: 40	枠: 80 扉: 40		
障 子	強化ガラス t=8	強化ガラス t=8	強化ガラス t=8	強化ガラス t=5	—		
金 物	ドアドラス、スリット7錠 (シリカゲル付)、安全光線、付属金物一式、SUS製網線	ドアドラス、スリット7錠 (シリカゲル付)、安全光線、付属金物一式	本網錠 (シリカゲル付)、レバーロック、下蓋、ドアドラス、フタなし、付属金物一式 スチール製網線 スチール付金具	本網錠 (シリカゲル付)、レバーロック、下蓋、ドアドラス、フタなし、付属金物一式 スチール製網線 スチール付金具	本網錠 (シリカゲル付)、レバーロック、下蓋、ドアドラス、フタなし、付属金物一式 スチール製網線 スチール付金具		
仕 上	7&3電線着色	7&3電線着色	—	—	—		
備 考	非常時解放、SUS製衝突防止シール	非常時解放、SUS製衝突防止シール	SUS製衝突防止シール	—	—		

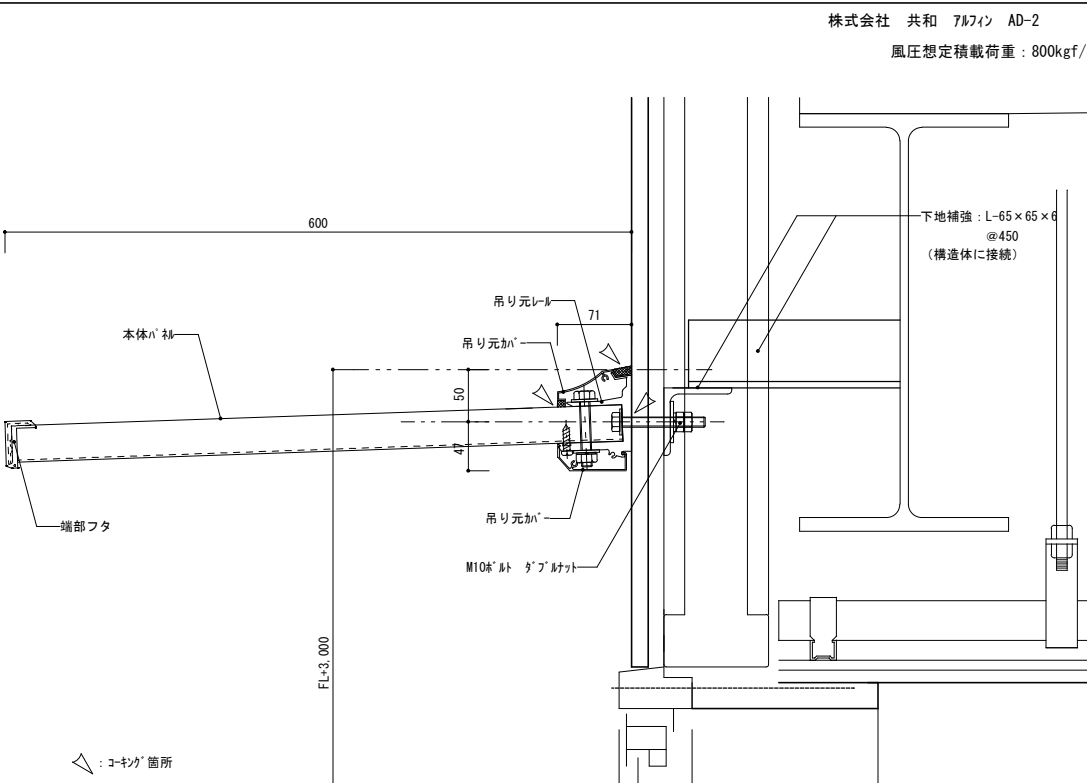
■特記事項	
・網戸とあるは金で樹脂製とする。 ・SUS網縁、LSOの枠は「F」網縁、30°とする。 ・7A1製建具網縁は7A1電解着色とする。 枠見込み：198（多目的使用のみ 354）とする。	

MEMO		株式 会社ジェイエイ津安芸		作製年月日		御承認		作 図		工事名称		図番	
		三重県津市一色町 211		訂正年月日						令和元年度河川ス振継第2号 旧津市民プール跡地テニスコート整備工事		A-16	
										建具表		縮尺 1/50 (A1)	

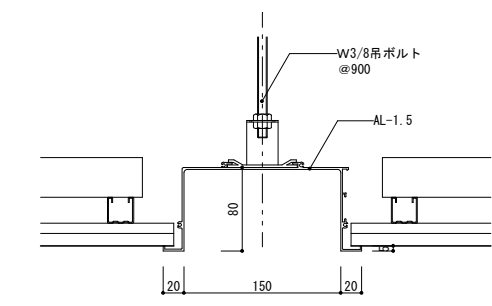
■屋上室外機置場 フェンス 詳細図 S=1/10

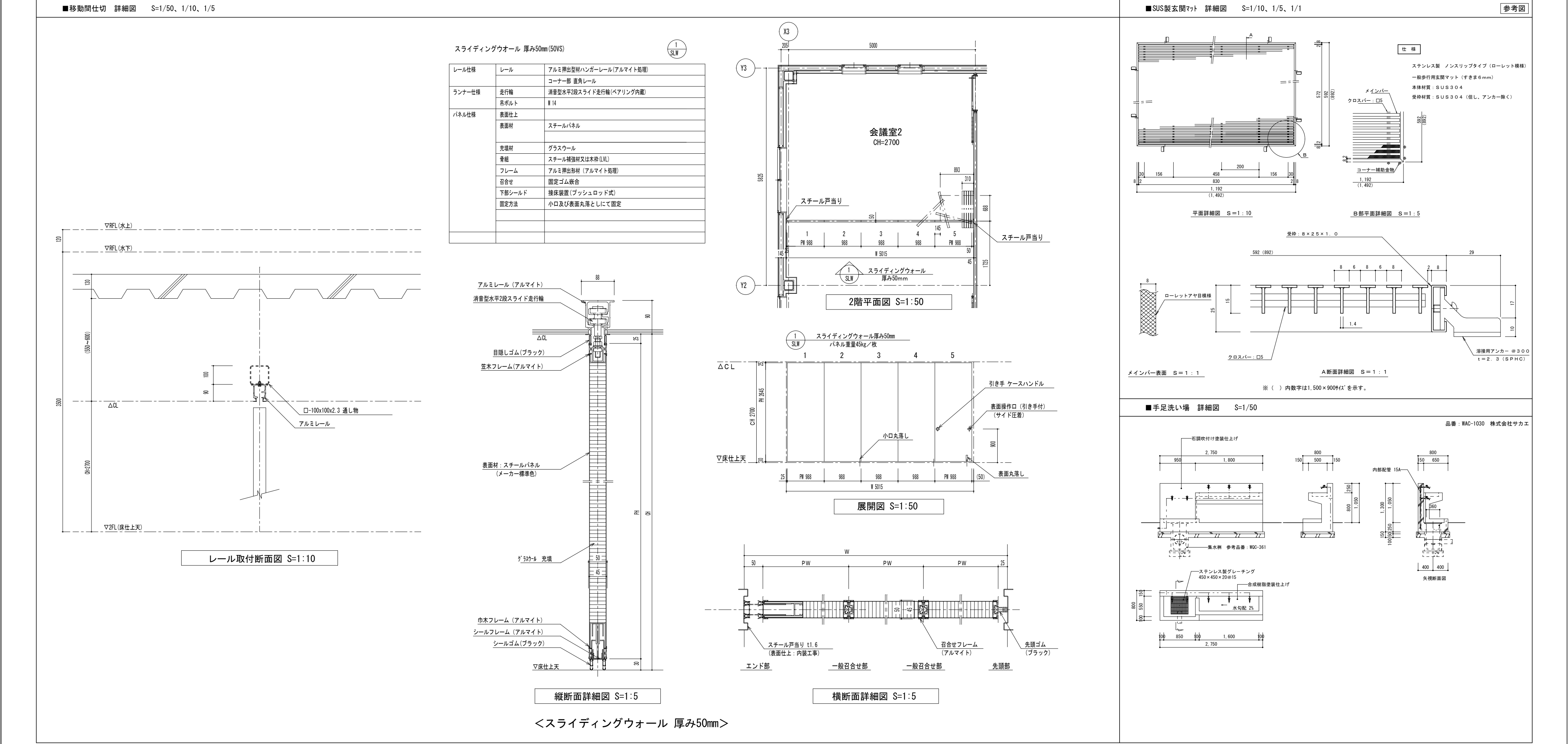
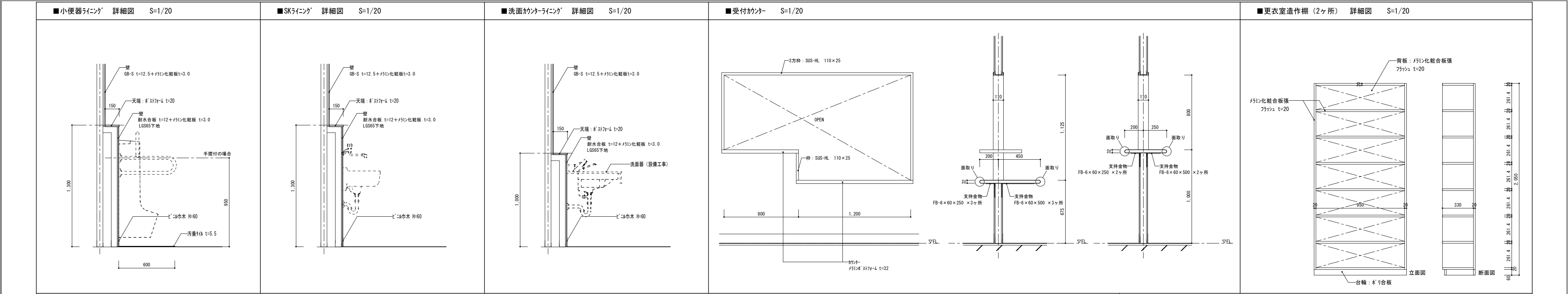


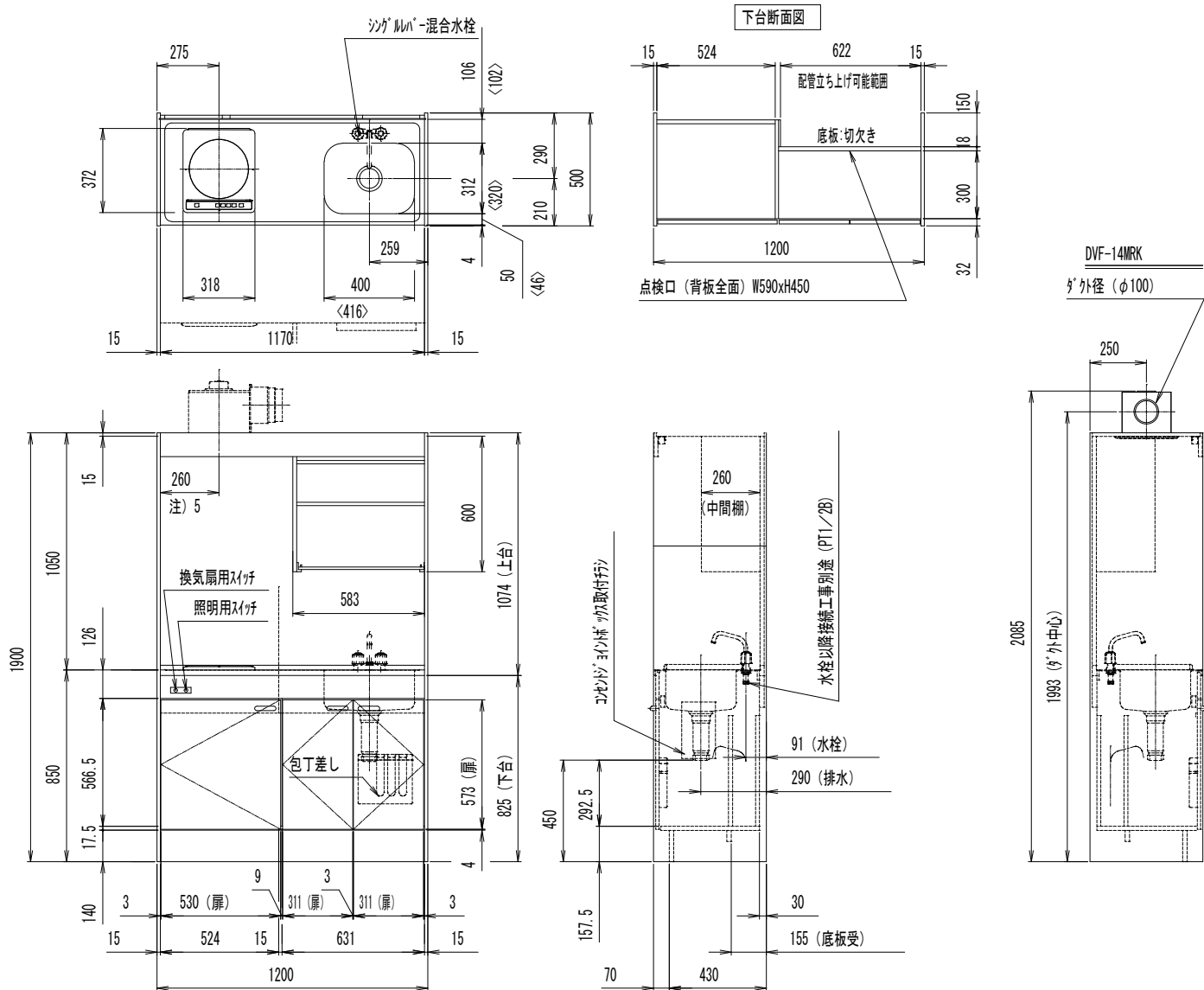
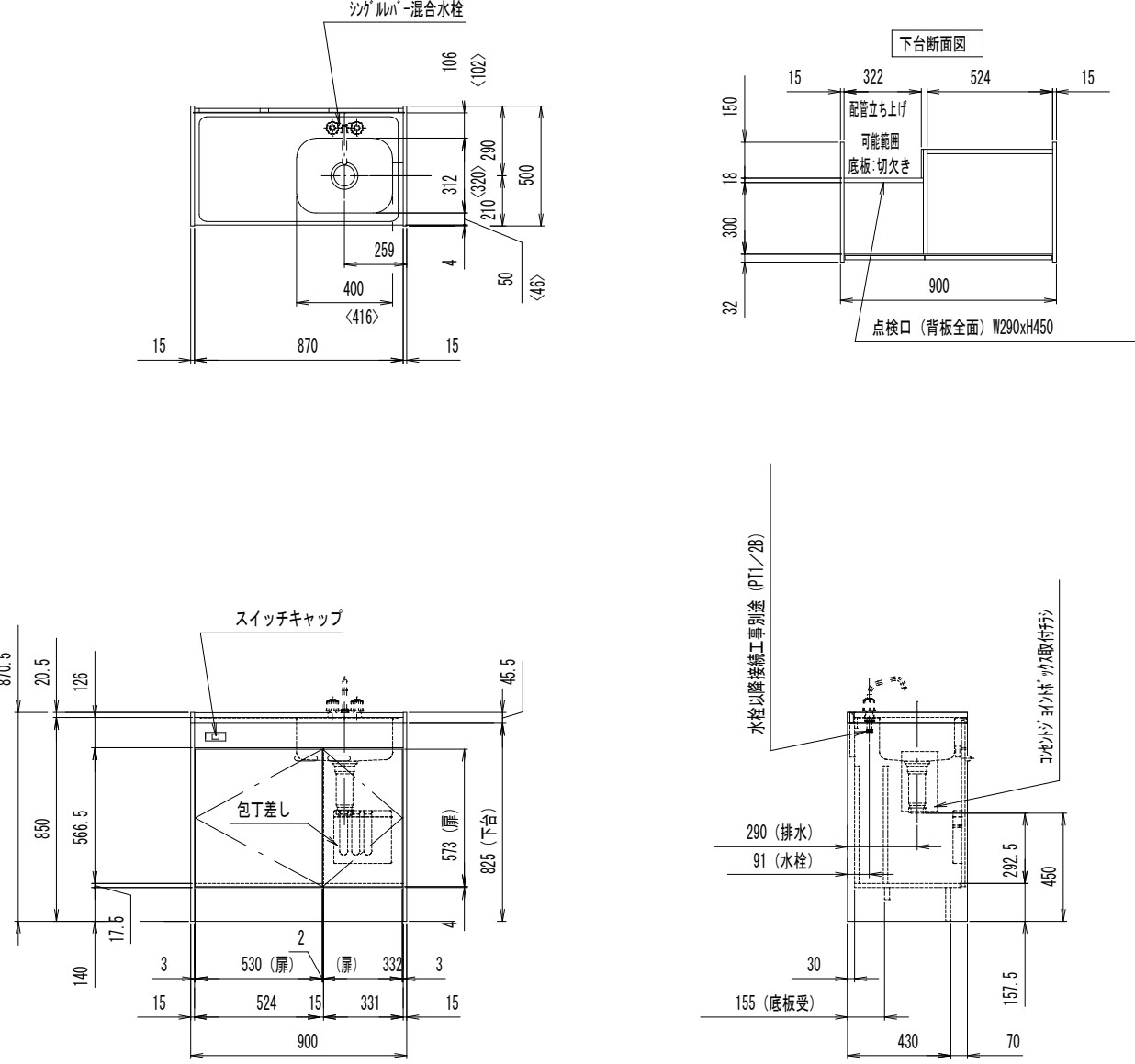
■アルミ底（既製品） 詳細図 S=1/5

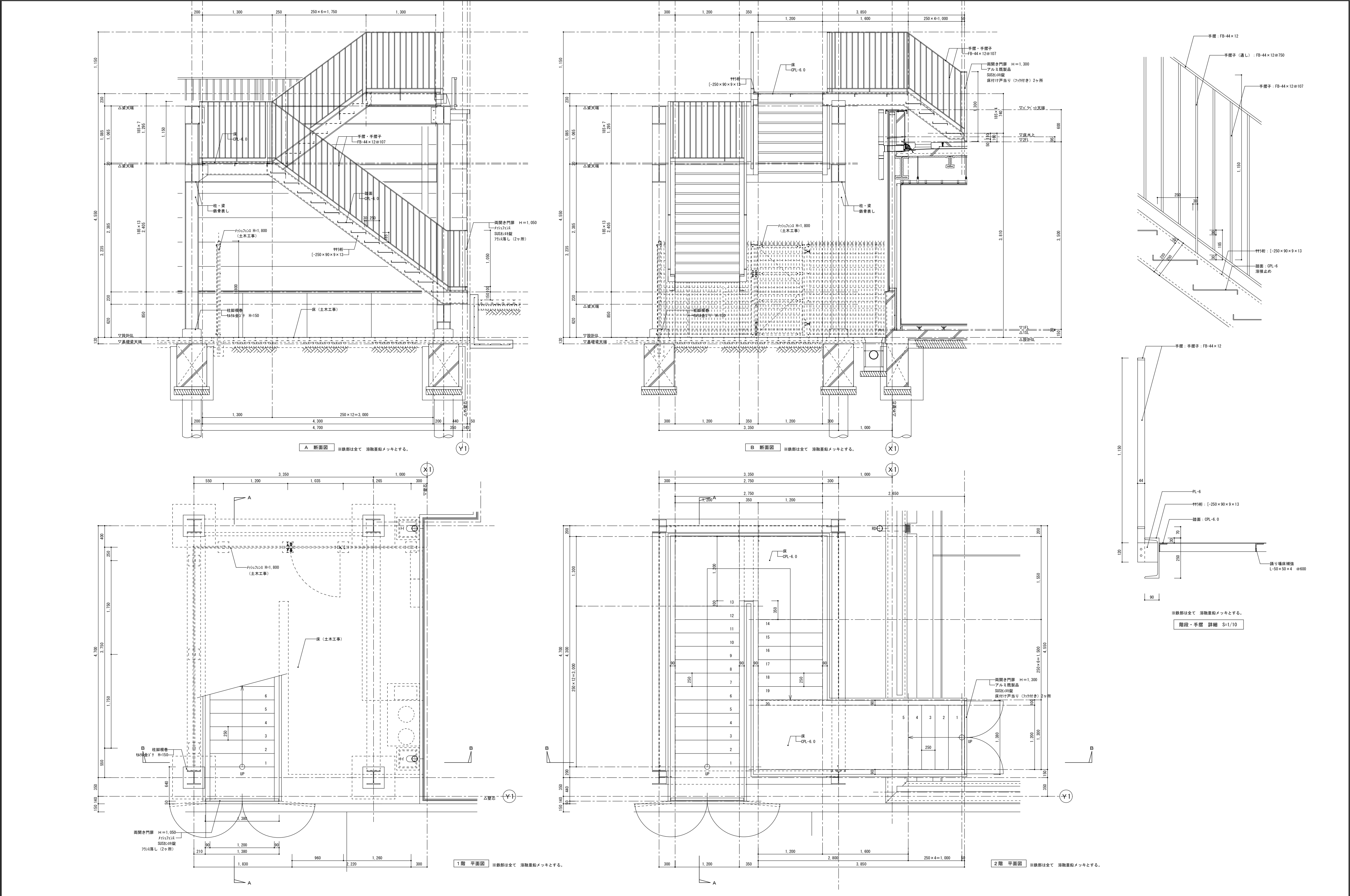


■フライングボックス 詳細図 S=1/10





■ミニキッチン（湯沸コーナ、会議室3） 詳細図 S=1/20		■ミニキッチン（医務室） 詳細図 S=1/20																							
LIXIL DMKミニキッチン DMK12LEWB1<2>>E100 (200) R 扉タイプ IHヒーター 右勝手 <table><tr><th>品 名</th><th>数 量</th></tr><tr><td>【ミニキッチン L=1200 右シンク】</td><td></td></tr><tr><td>ミニキッチン 1 6</td><td></td></tr><tr><td>ミニキッチン扉タイプ 120cm/一般地-シンク 66cm-混合水栓・IH200V</td><td>1</td></tr><tr><td>シンク 38×3排水槽付/可動円板 (穴径120対応) 付 内面平滑仕様</td><td>1</td></tr><tr><td>暖房 外用換気扇</td><td>1</td></tr></table>		品 名	数 量	【ミニキッチン L=1200 右シンク】		ミニキッチン 1 6		ミニキッチン扉タイプ 120cm/一般地-シンク 66cm-混合水栓・IH200V	1	シンク 38×3排水槽付/可動円板 (穴径120対応) 付 内面平滑仕様	1	暖房 外用換気扇	1	LIXIL DMKミニキッチン DMK09HEWB1<2>>NNR 扉タイプ 加熱機器なし h-フ <table><tr><th>品 名</th><th>数 量</th></tr><tr><td>【ミニキッチン L=900 右 シンク】</td><td></td></tr><tr><td>ミニキッチン 1 6</td><td></td></tr><tr><td>ミニX扉タイプ h=780cm/一般地-シンク 66cm-混合水栓・加熱機器なし</td><td>1</td></tr><tr><td>シンク 38×3排水槽付/可動円板 (穴径120対応) 付 内面平滑仕様</td><td>1</td></tr></table>		品 名	数 量	【ミニキッチン L=900 右 シンク】		ミニキッチン 1 6		ミニX扉タイプ h=780cm/一般地-シンク 66cm-混合水栓・加熱機器なし	1	シンク 38×3排水槽付/可動円板 (穴径120対応) 付 内面平滑仕様	1
品 名	数 量																								
【ミニキッチン L=1200 右シンク】																									
ミニキッチン 1 6																									
ミニキッチン扉タイプ 120cm/一般地-シンク 66cm-混合水栓・IH200V	1																								
シンク 38×3排水槽付/可動円板 (穴径120対応) 付 内面平滑仕様	1																								
暖房 外用換気扇	1																								
品 名	数 量																								
【ミニキッチン L=900 右 シンク】																									
ミニキッチン 1 6																									
ミニX扉タイプ h=780cm/一般地-シンク 66cm-混合水栓・加熱機器なし	1																								
シンク 38×3排水槽付/可動円板 (穴径120対応) 付 内面平滑仕様	1																								



エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	P11-CO-45
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m/min
	戸開方式	2枚戸両引き（CO）
	出入口幅	900mm
	出入口高さ	2100mm
	かご室サイズ（内法開口）	1400mm
	かご室サイズ（内法奥行）	1350mm
	かご室サイズ（内法高さ）	2280mm
	出入口方式	一方向出入口
正面側停止数	2停止（1-2階）	
動力用電源	AC3Φ-210V-60Hz	
照明用電源	AC1Φ-100V-60Hz	
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	出入口幅特殊（乗場）	2箇所
	出入口幅特殊（かご）	1箇所
	数階間隔	10mm
	ドアセンサー機能	マルチビームドアセンサ2D
	車いす仕様	あり（制御機能）
	視覚障がい者対応仕様	あり
乗場仕様	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
	乗場三方枠	大枠床広幕板なし 301mm~600mm ステンレスヘアライン（1-2階）
	乗場戸	ステンレスヘアライン仕上（1-2階）
	乗場数階	アルミ製（1-2階）
	乗場インジケータ	一体セグメントLED ステンレスヘアライン（1-2階）
	乗場インジゲータ体形ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED（1-2階）
休止灯	あり	
車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタンプレート体形 ステンレスヘアライン仕上（1-2階）	
車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED（1-2階）	
乗場休止スイッチ	乗場インジ・ボタン組込	
かご室仕様	天井	LEDフラット（白色LED）
	かご室壁・戸	化粧鋼板
	袖壁・出入口柱	ステンレスヘアライン仕上
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）
	かご室数階	アルミ製
	かご操作壁タイプ	袖壁操作壁
	かご操作壁プレート材質・仕上	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED
	正操作壁インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ（5.7インチ） CUDO認定品
	かご操作壁液晶表示言語	4ヵ国語ガイド（通常時：日英、緊急時：日英中韓、1画面表示）
	車いす専用かご操作壁	両側面に設置 プレート：ステンレスヘアライン仕上
	車いす専用かご操作壁インジケータタイプ	セグメントLED
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（凸文字）・黄橙色LED
	かご室換気	ラインフローファン
かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）	
かご室鏡	合せガラスアルミ枠付（570mm×1400mm）	
壁保護幕	あり（磁石式）	
床保護マット	あり	
その他仕様	気配りドア	あり
	ホールモーションセンサ<3D>	あり
	遅燃機能	なし
	点字名板取付方法	接着
	おもり非常止め	なし
	火災時管制運転方式	なし
	インターホン型式	6V1局
	乗場インターホンボックスタイプ	鋼板塗装仕上（露出形）
	かご内アナウンス	かご内4ヵ国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	かご室スピーカー	あり
	フェッシャープレート	エレベーター手配（2階）
	レール支持方式	立し方式
	煙感知点検口スイッチ	なし
	仮設動力電源	客先手配 (NN19054324)

No. 01号機

除外工事事項

建築工事関係

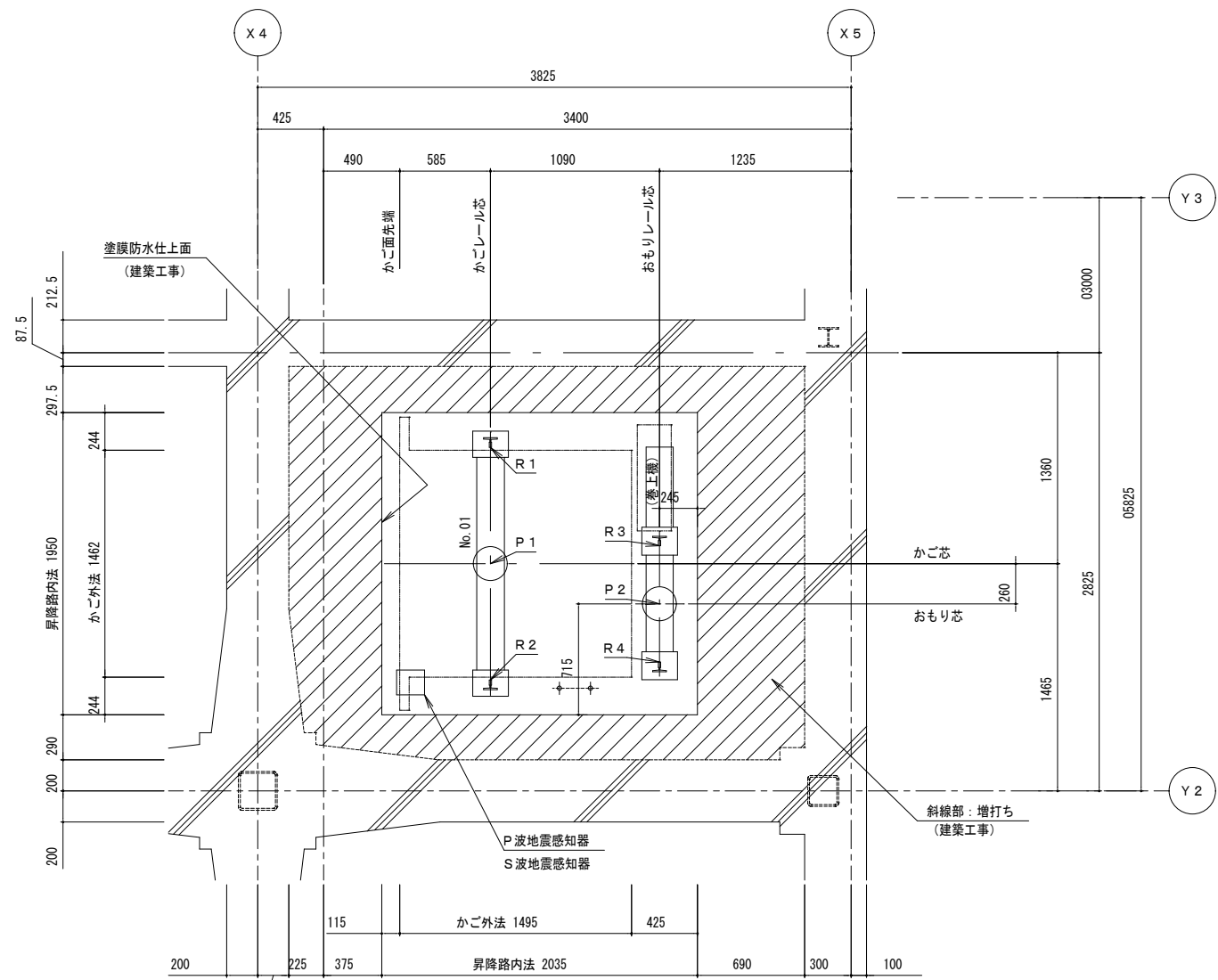
1. 昇降機等の施工工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の取付工事
(昇降路室は 5cm^2 辺り 300N の外力が作用した時に 15mm を超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること)
2. 鉄骨構造のファスナー、立柱及び中間ビーム (必要の場合) 並びにインキイ等の設置工事
3. 鉄骨構造の三方柱、インジケータ、押ボタン、ハンガークラウ等の取付用鋼材設置工事
4. 各乗降場出入口周囲のモルタル貼れ工事
5. 乗降場乗降後付の出入り口の取付け及び仕上げ工事
6. 昇降機頂部にエレベーター機器兼用のフック又はビームの設置工事(200kg) /台
7. 遮断機等(増設の非常口閉鎖工事)
8. ビット内防水工事
9. ビット下部防水の場合の建築対策工事
10. ビットが深い場合の埋め戻し工事
11. その他建築に関する工事

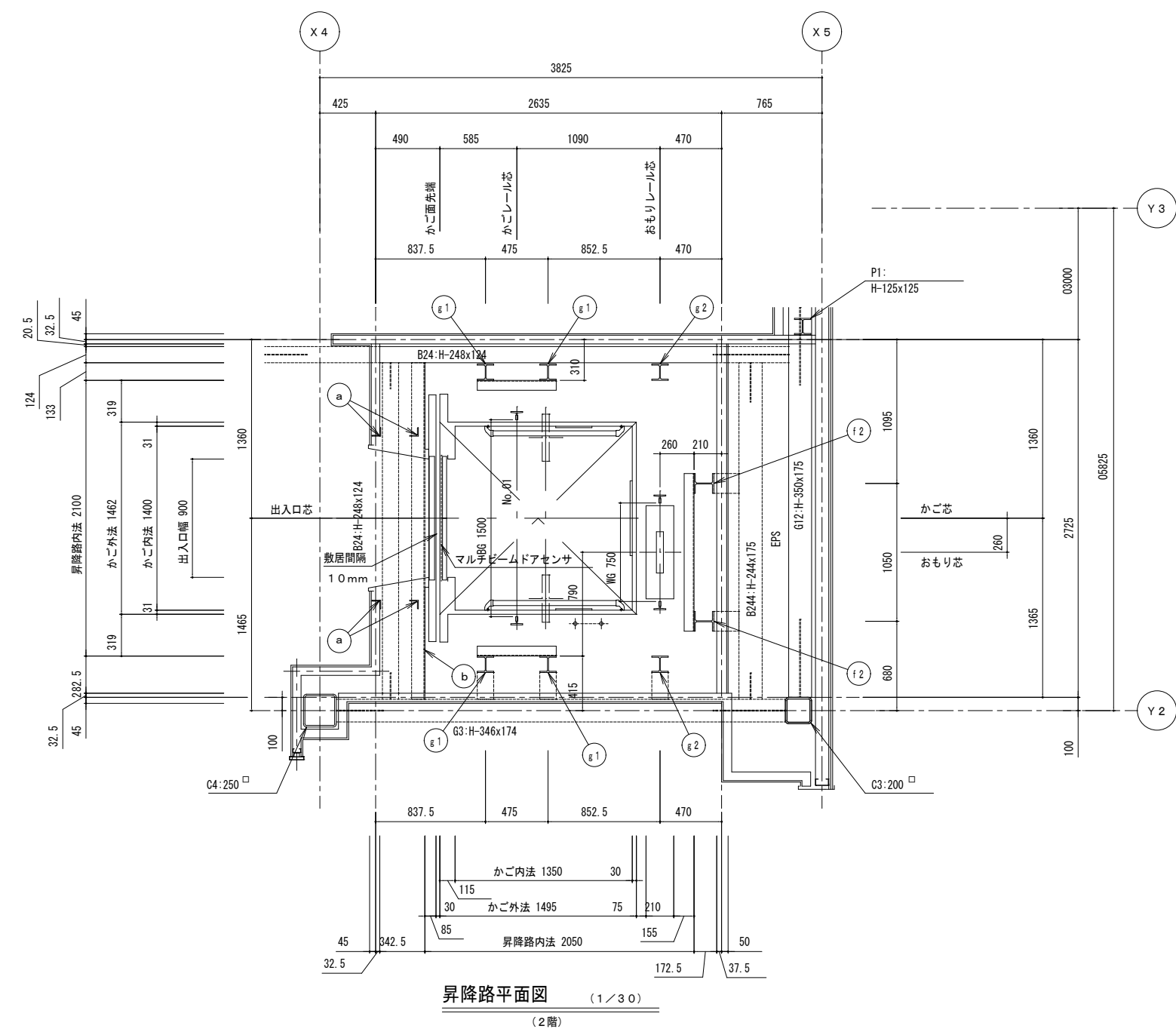
設備工事関係

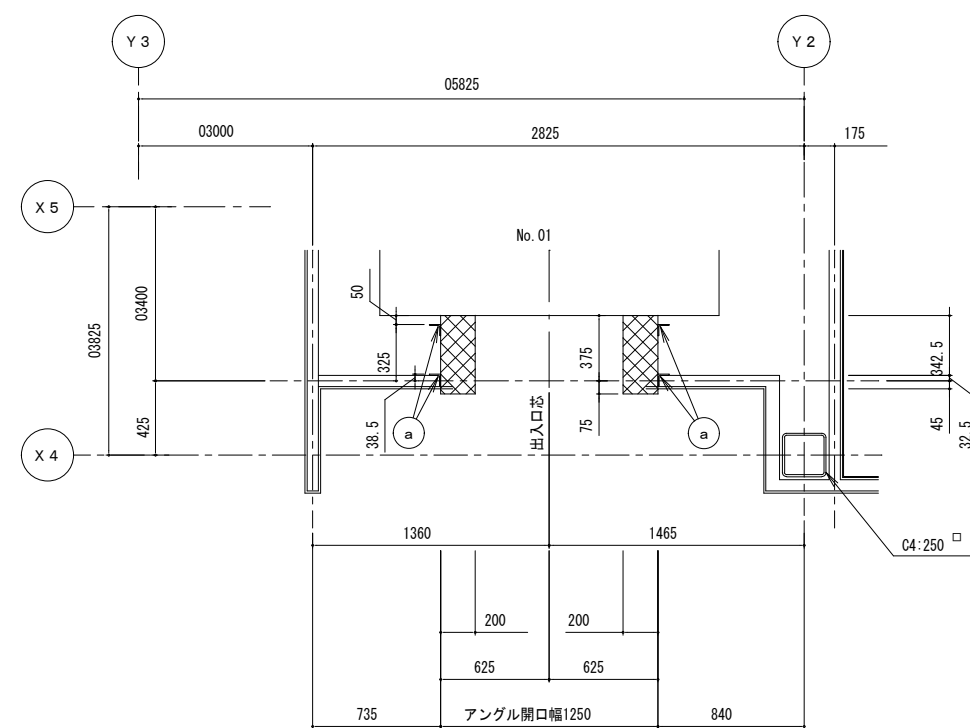
1. 動力電線、照明電線、接地線の受電端子迄の引込工事
(※鉄込み工事含む)
2. インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事
(0.9×0.10×10) 外
3. 火報警信号の昇降路より／台所の配管配線工事
4. 通煙ドアに付属の点検、通煙ドア設置簡易降ロビーに火災
通知機は必ず、煙感知器の設置工事
5. エレベーターの経路管理用配管・配線工事 (昇降路内から
最寄の電話中継室まで)
6. ビット内点検用セント設備工事
(照度用はAC100Vと(照明系は別注の工事))
7. 昇降路頂部の煙感知器設置工事 (外部より点検可能なこと)
- 平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検
口には作業用 (工具を必要とするネジでも) とし戸が開
いた時には配管 (ケーブル) を停止させる必要がある
8. 一般テナント共有のモータールーム、地下内テナント用配管・
配線工事 (昇降路からモータールーム設備場所まで)
→5-2と同一種ケーブル
9. カギレスビークルがある場合、放送用配管配線の昇降路
制御室までの引込工事
(非常放送がある場合3線式とすること)
10. 昇降路の換気設備工事 (平成12年建設省告示第1413号
第三号により昇降路内温度を40℃以下に保つ必要
があります)
- 発熱量 エレベーター駆動動力 (8.75W/1台)
+エアコン (— W/1台)

注意事項

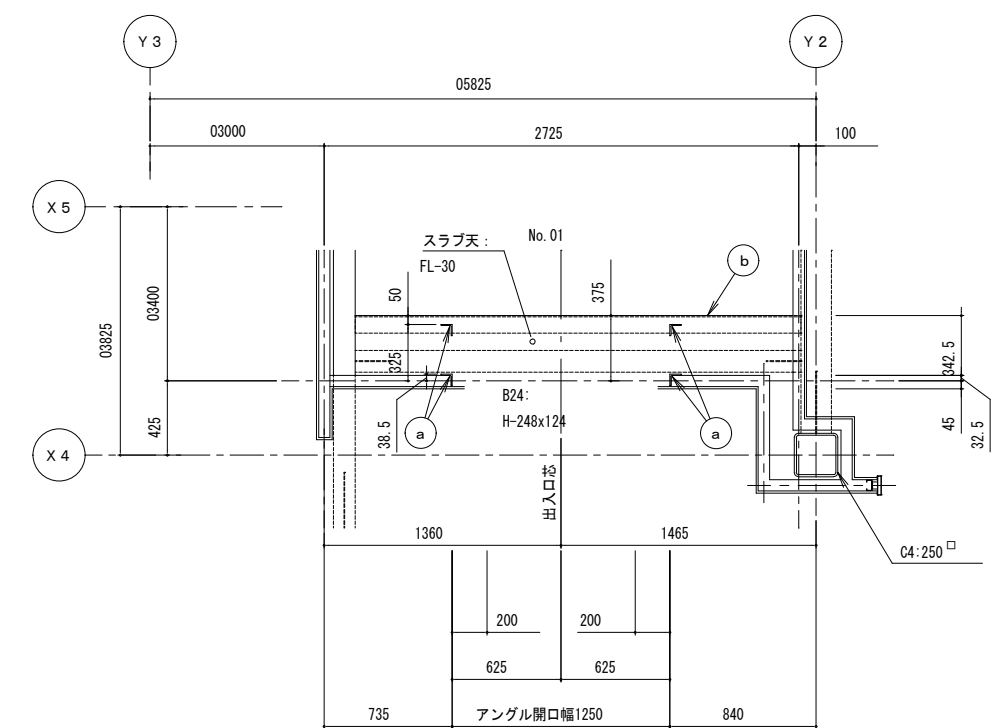
1. 昇降機開口・開口付近は、昇降機金輪（ビット底部から昇降機頂部まで）の2つに確実のこと
2. コンクリート強度は21N/mm²以上のこと
3. 電源線の変動は±5%～±10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
4. 本エレベーター所定の性能性標定のため記述が必要でこと
(1) 昇降機内の温度は5℃～40℃以内、湿度は月平均90%、日平均95%未満かつ急激な温度変動等により水結・結露しないこと
(2) 金庫を損壊または腐食し天井と接点の接触摩損等の原因となるような腐食及び化学的腐食等がないこと
5. 屋上換気風道へ水配りする場所における雨水パイプは設置（ひさし・風除雪・水受け・グレーチング・防振板）
6. 昇降機壁には水・水道管の配管・器具を露出させないこと
7. 昇降機内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないこと
(建築基準法施行令第129条の2の第1項第3号)
8. 遮断器はインパクター部設置のものを使用すること
9. 輸送可能な温度範囲や台車などの重物は250kg以下とすること
10. 換気設備を設置する場合は昇降機外周より安全可能な位置とし、設置位置により水漏れは、防水対策を実施のこと
11. エレベーターの車体・点検から上り・緊急対応のための、外部階段などから登り降りする地下地下エレベーターホール・アクセスでは経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
12. エレベーターから発生する高周波漏洩電流・高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
(1) エレベーター動力と通信機器・OA機器等通信機器の電源線・通信線は1m以上分離すること
(2) エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等通信機器の電源トランスを分離すること
（はパワー照明用の電源は弱電機器のトランスと分離不要）
(3) エレベーターを含む機器のトランスと通信機器・OA機器等通信機器のトランスの分離配線と接地地の分離すること
13. 乗場壁へレフト・クラックを付けたりする場合は、乗場機器取付け後に施工します。乗場機器取付け前にはクラックを付けたらダメです。乗場機器取付け時の作業の方向に火に引かせる恐れがあります
14. 乗場に向った側風が吹く場合は、防風対策（建築工事）を行ってください。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります



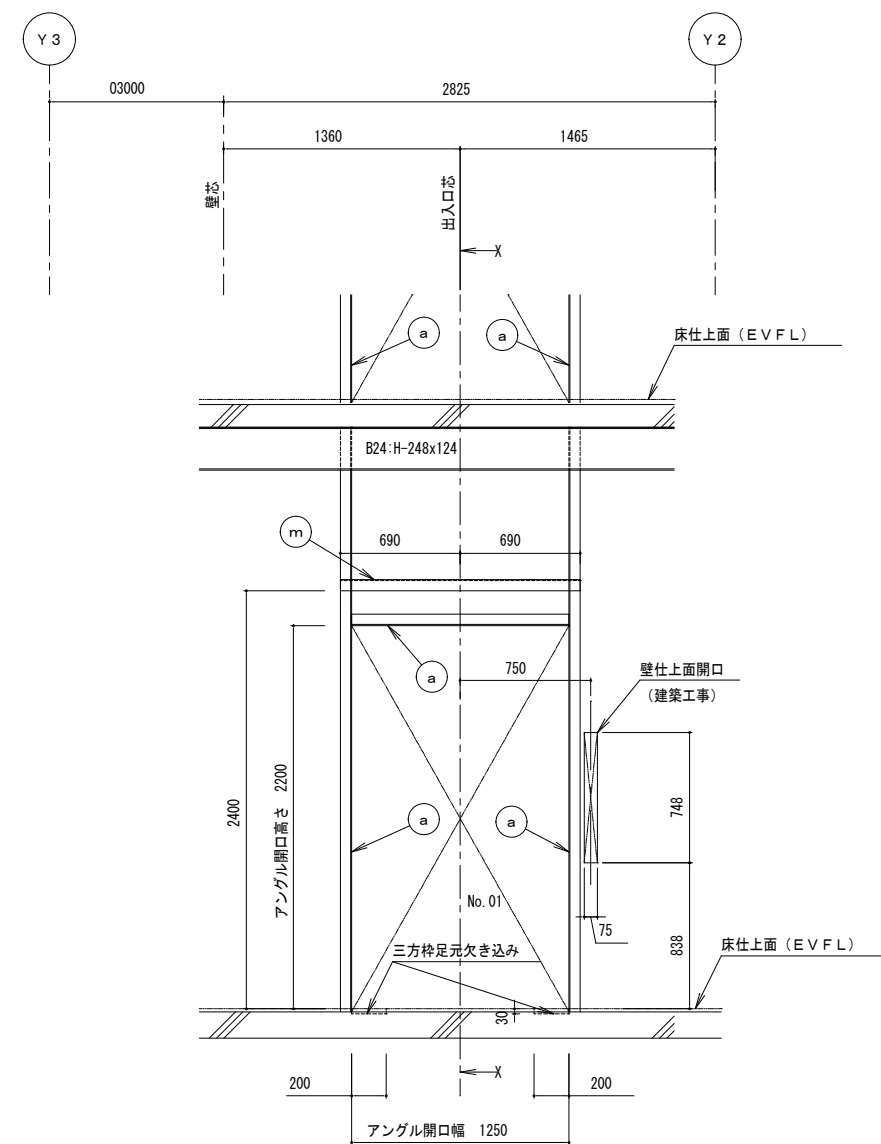
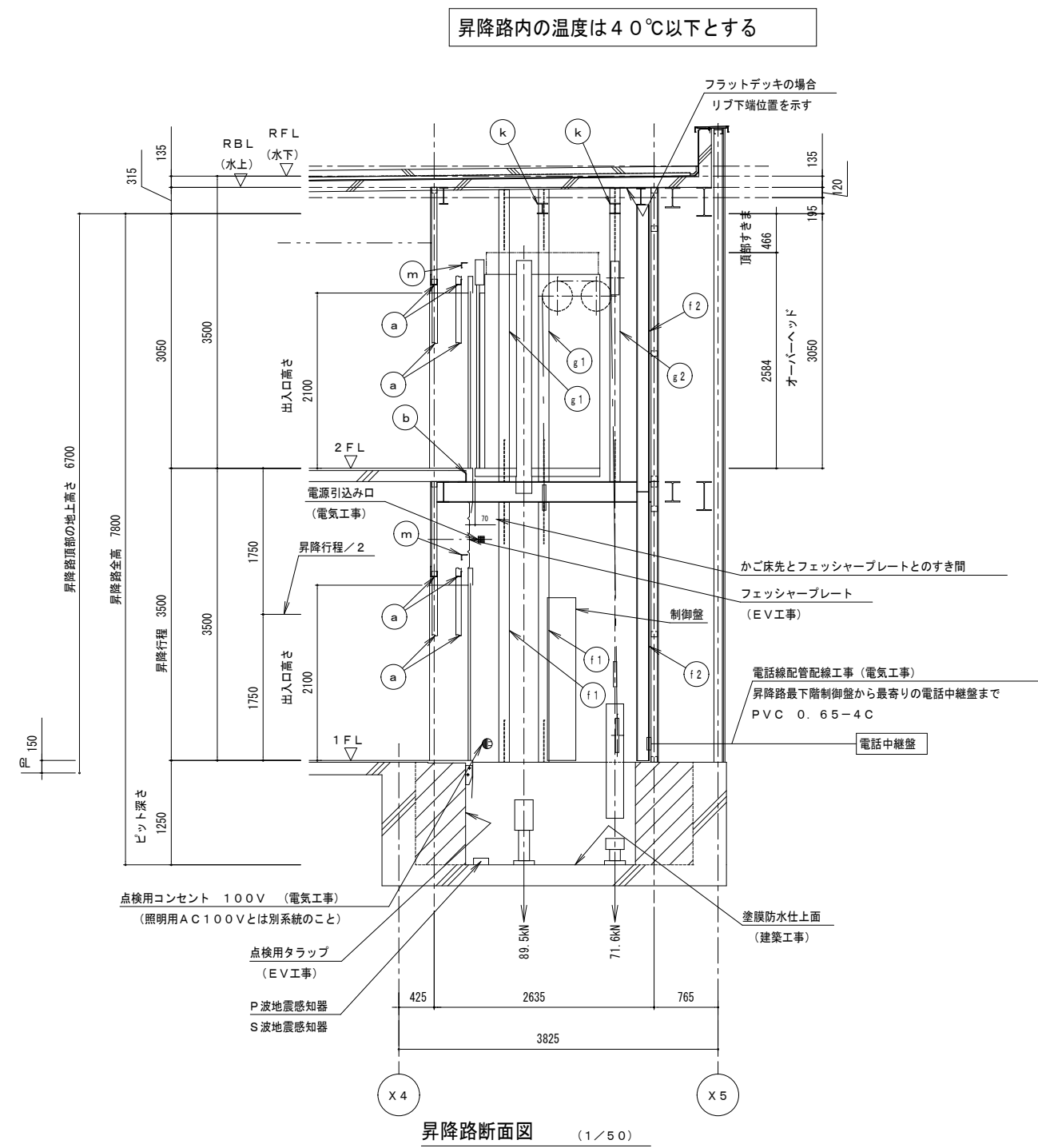




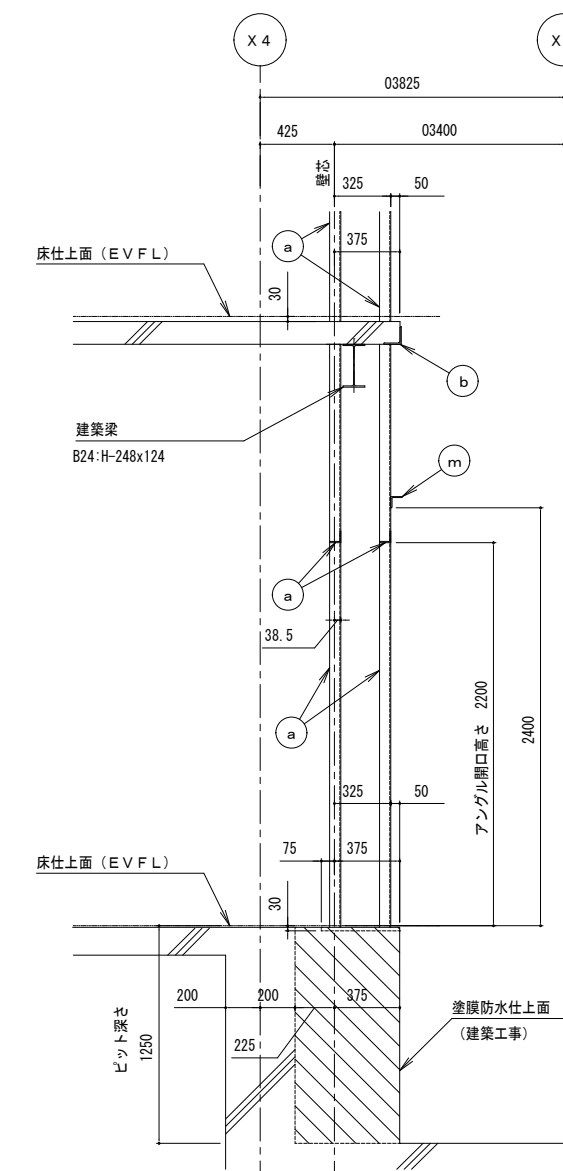
乗場平面穴あけ図 (1/30)
(1階)



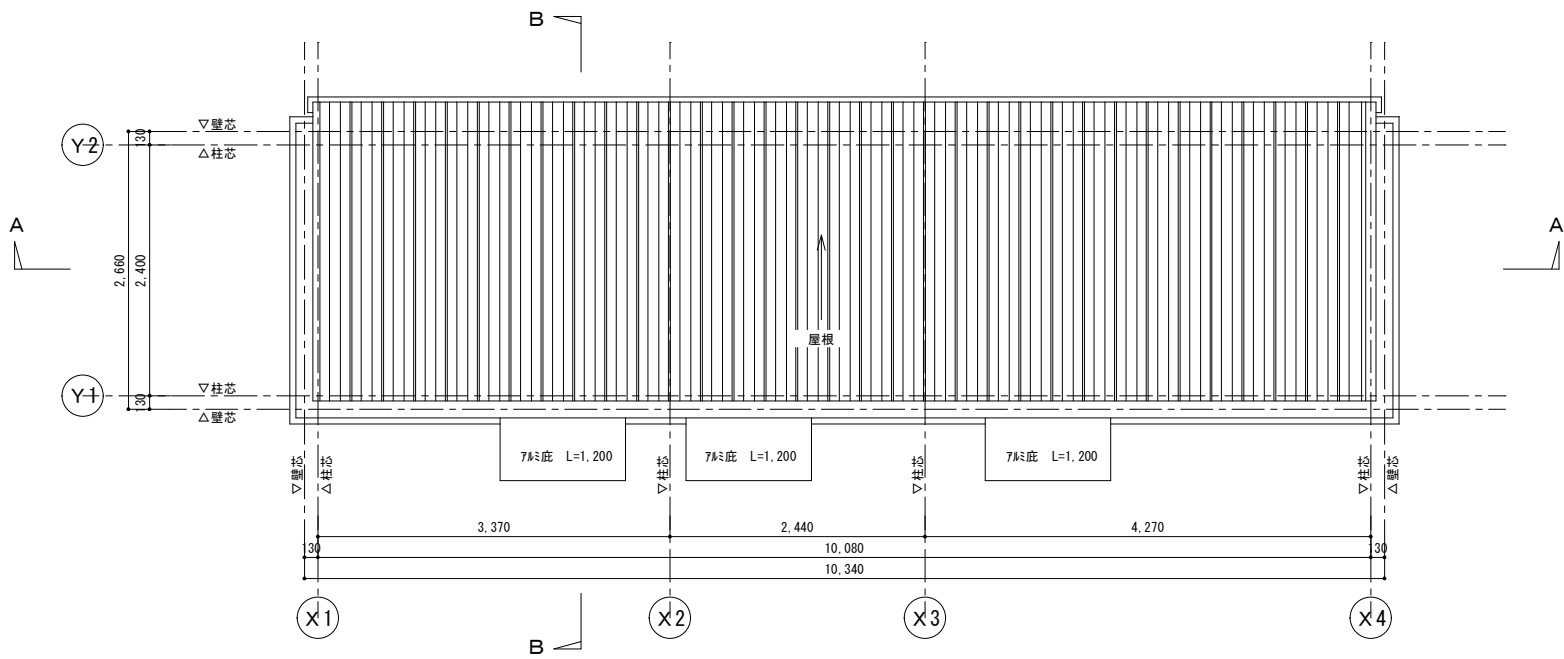
乗場平面穴あけ図 (1/30)



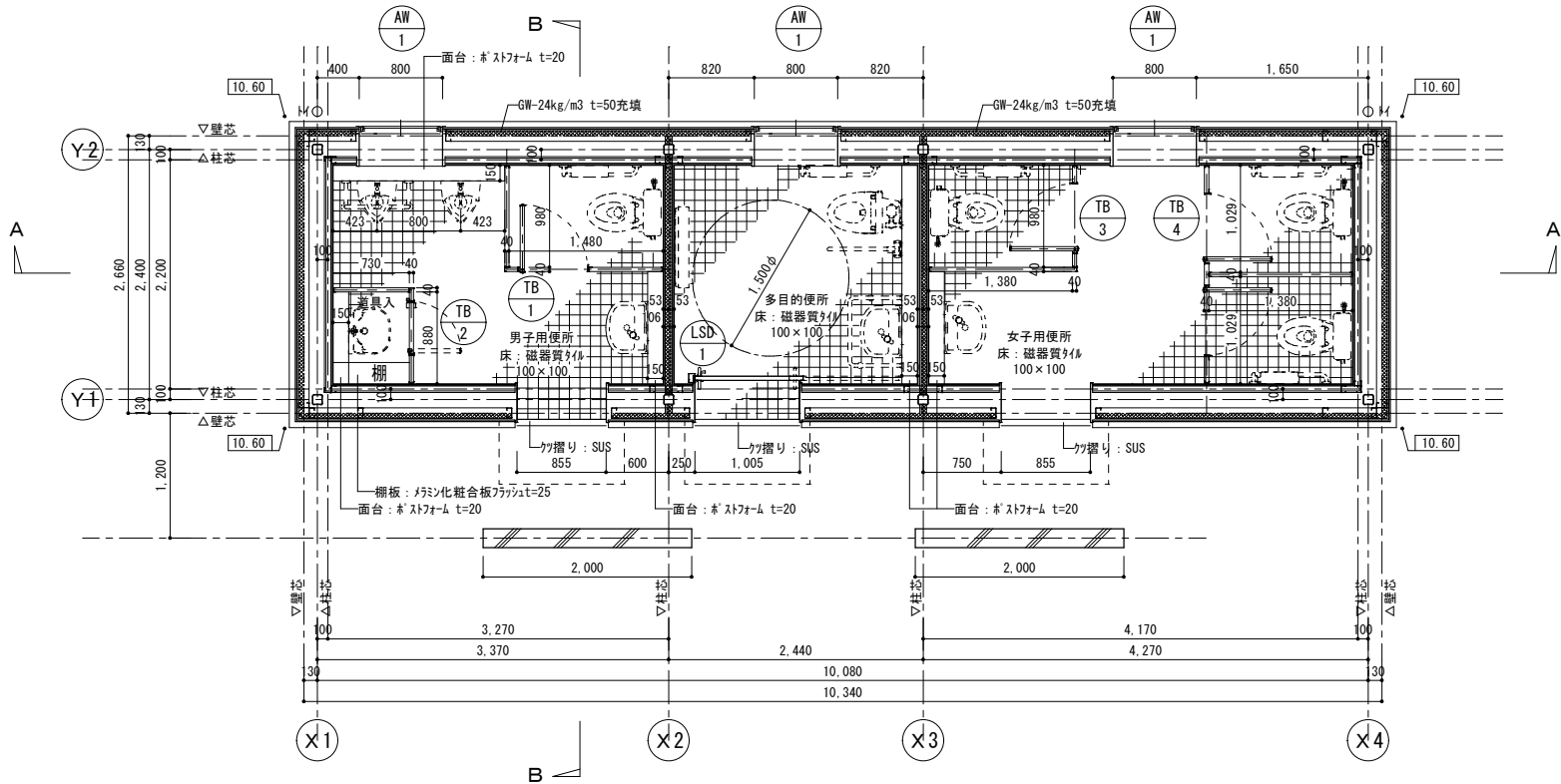
乗場穴あけ図 (1/30)



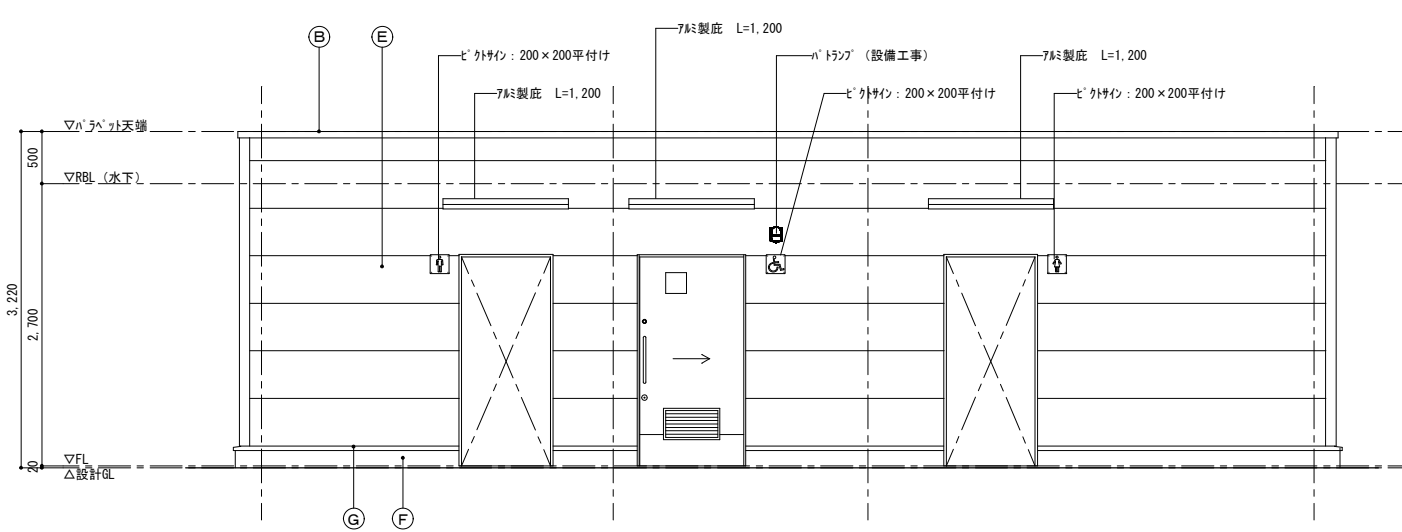
部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-65×65×6	建築工事
b	教居受け金具取付材	L-100×100×7	建築工事
f1	レールブラケット取付用立柱	H-125×125×6.5×9	建築工事
f2	レールブラケット取付用立柱	H-150×150×7×10	建築工事
g1	レールブラケット取付用立柱兼 播重ビーム取付立柱	H-125×125×6.5×9	建築工事
g2	播重ビーム取付用立柱	H-125×125×6.5×9	建築工事
k	播重ビーム	H-125×125×6.5×9	建築工事
m	ハンガーケース取付材	L-65×65×6	建築工事



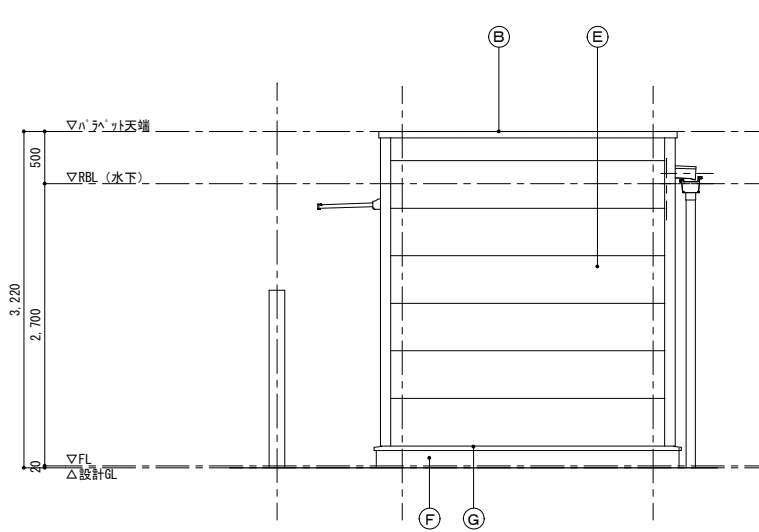
平面詳細図 S=1/50



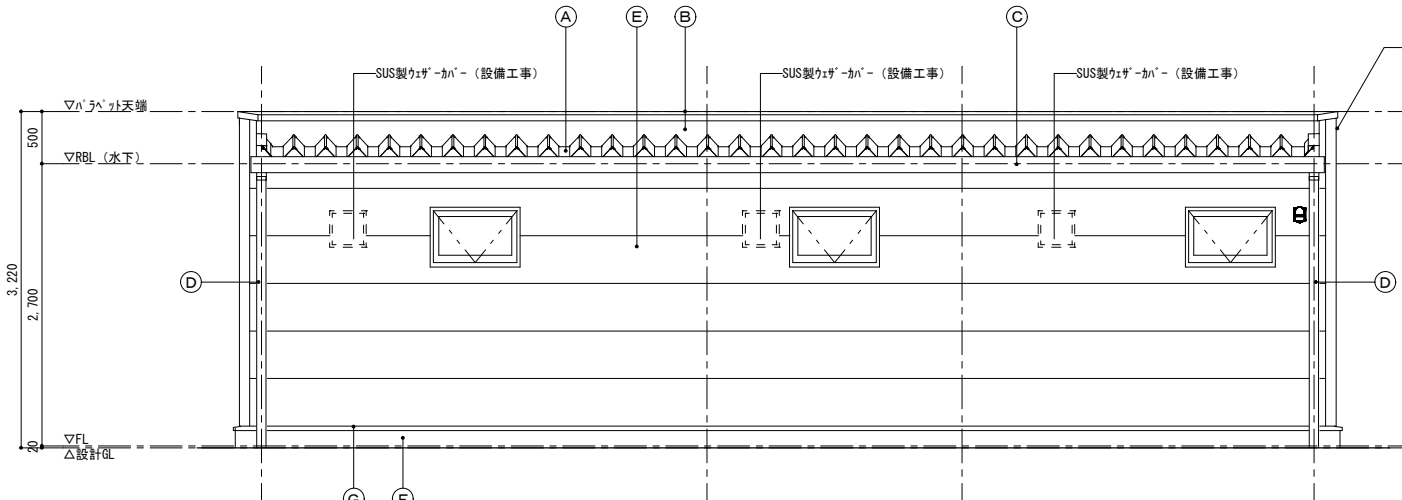
平面詳細図 S=1/50



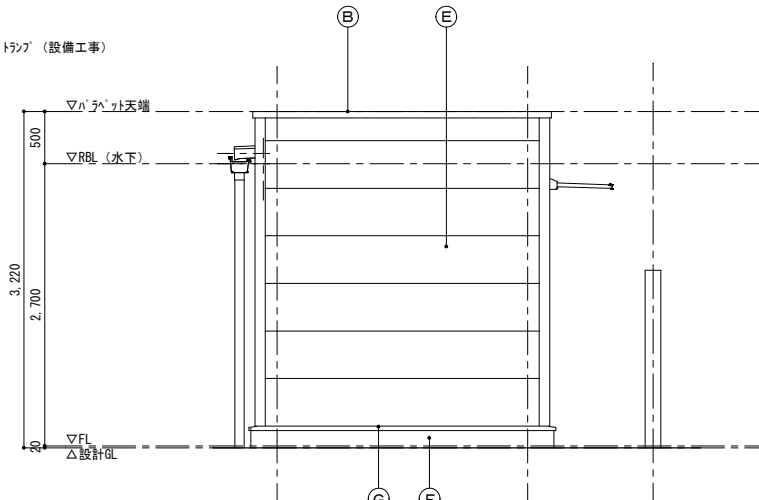
東立面図 S=1/50



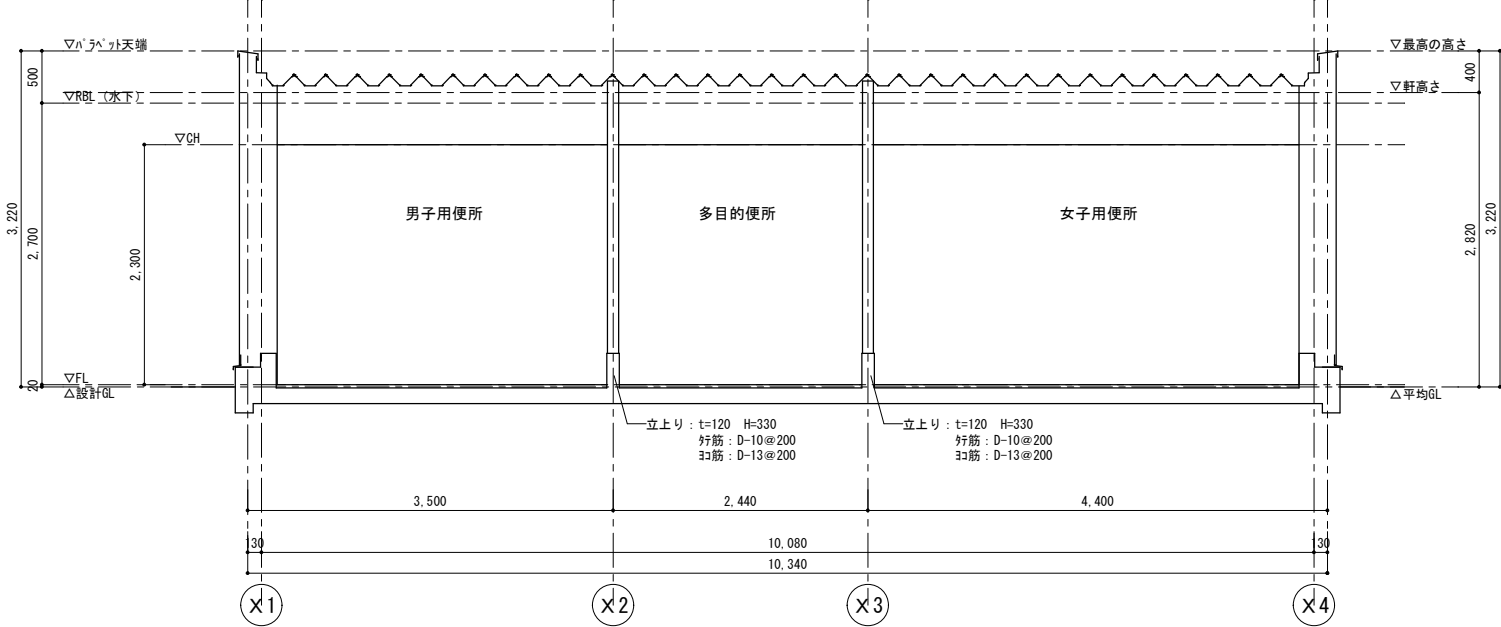
北立面図 S=1/50



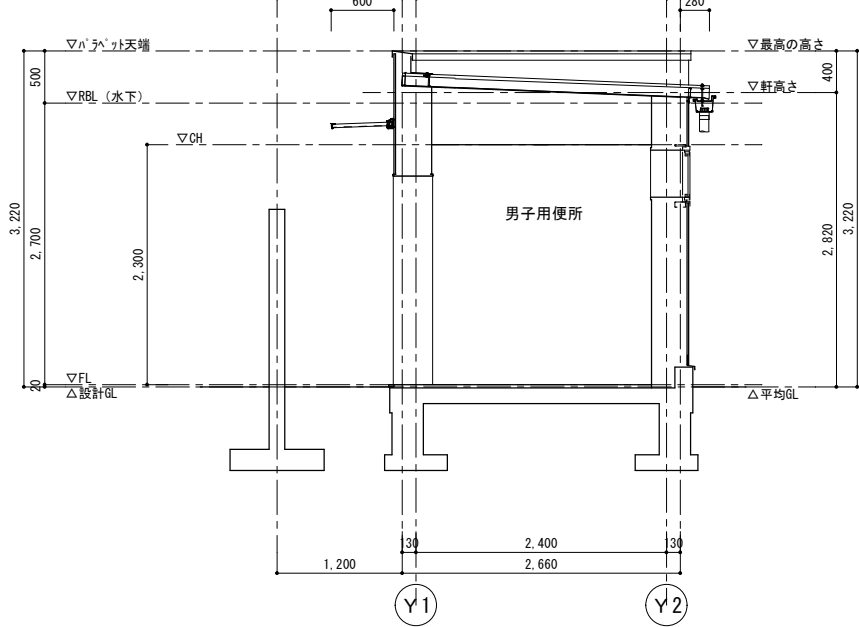
西立面図 S=1/50



南立面図 S=1/50



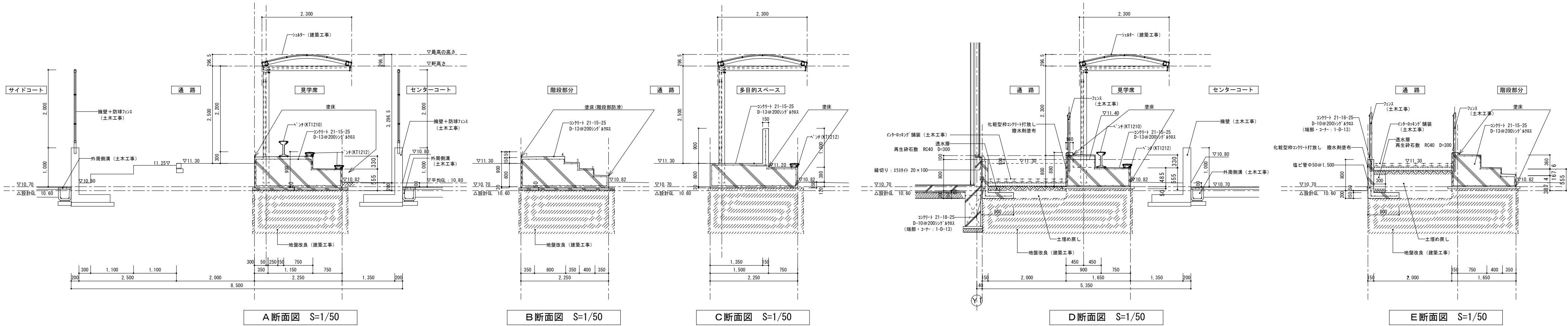
A断面図 S=1/50



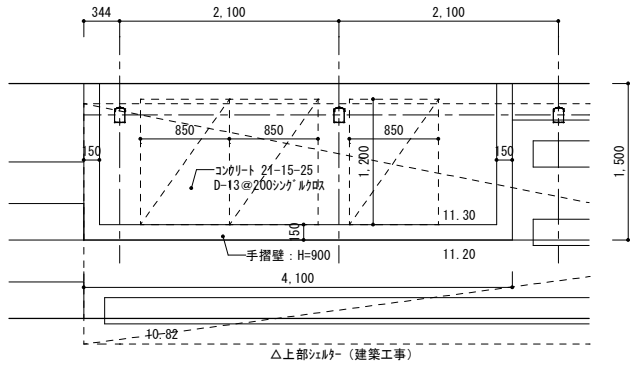
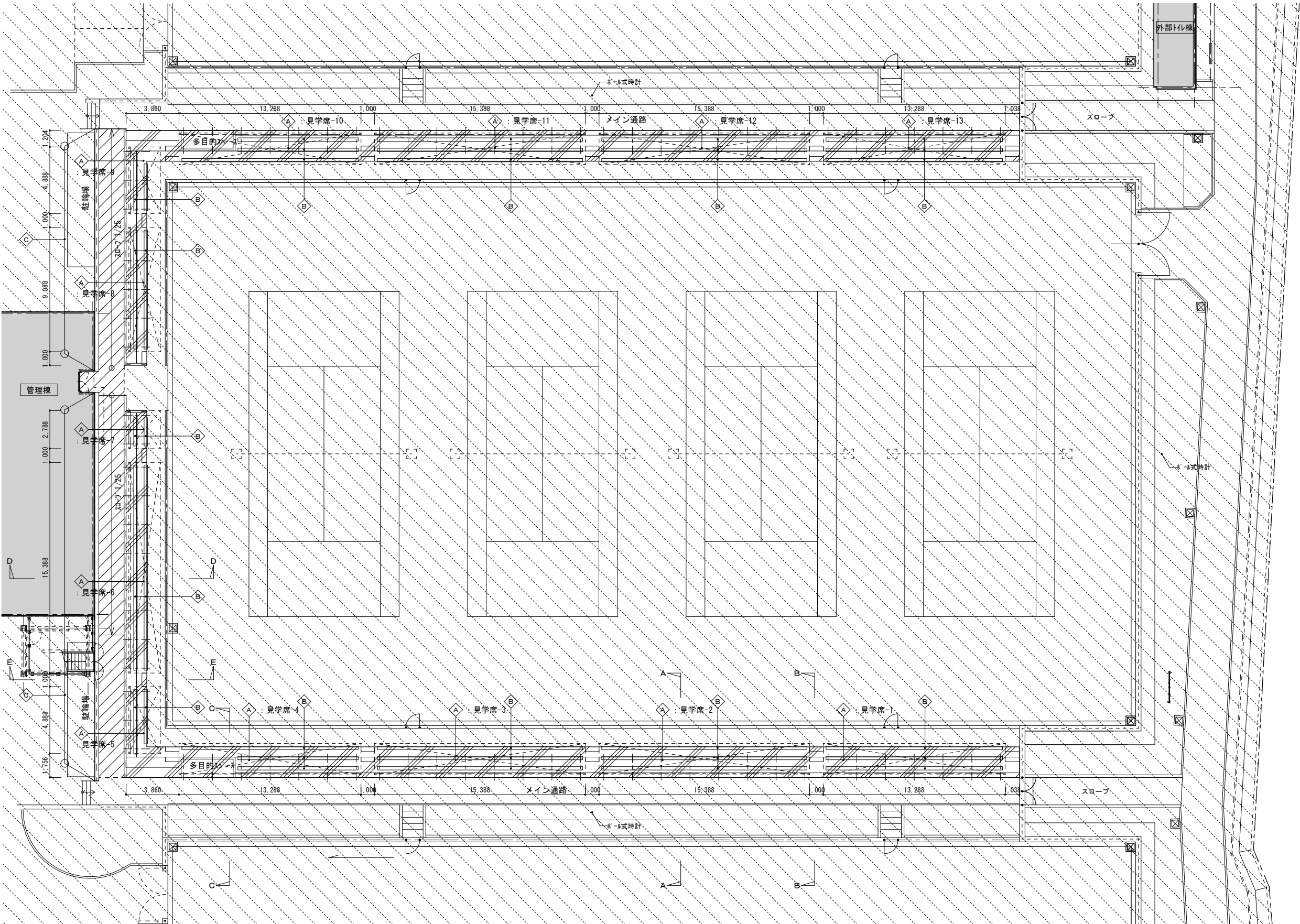
B断面図 S=1/50

屋外トイレ棟 外部仕上	
A	屋根 折板 ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板t=0.8 山高90 嵌合ﾀｲﾌﾟ ｶﾞﾗｽ繊維系断熱材表貼 t=0.5
B	ﾊﾞﾗﾝｽﾞ 笠木: 7A1製押出材 W=200 立上り: ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板 t=0.35
C	軒 樋 硬質ﾌﾟﾘﾝﾄﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ製 前高式 角形 巾120
D	壁 樋 硬質ﾌﾟﾘﾝﾄﾞﾙｰﾋﾞﾝｸﾞ製 巾100 樋み食物: SUS製 既製品 巾1200
E	外 壁 窯業系ｼｰﾂｲﾝｸﾞ t=16 横張 (通気工法)
F	巾 木 化粧合板型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 撥水剤塗布
G	水 切 ｶﾞﾙﾊﾞﾆｳﾑ鋼板t=0.35加工
開口部 窓: 7A1ｼｰﾂ (7A1付処理) 扉: ｽﾏｰﾄﾞｱ (ﾌｯｿ樹脂焼付塗装)	

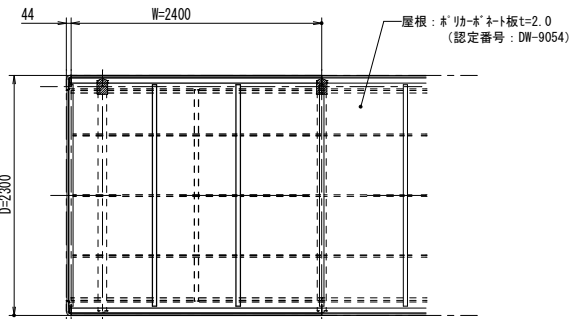
外部トイレ棟 内部仕上表																				
階	室 名	床			巾 木	壁			天 井					室名札	備 考					
		FL	下 地	仕 上	仕上 高さ	下 地	仕 上	柱 型	下 地	仕 上	梁 型	廻 縁	天井高							
1 階	男子用便所	FL±0	RC	磁器質タイル100×100	磁器質タイル100×100 H=300	LGS	GB-S t=12.5 + 化粧タイル貼板 t=6 (GW-24kg/m3 t=50 充填)	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.300	トイレブース: 高圧洗浄化粧合板フラッシュ t=40 タイル天端: タイル+タ=20 棚板: タイル化粧合板フラッシュt=25						
	女子用便所	FL±0	RC	磁器質タイル100×100	磁器質タイル100×100 H=300	LGS	GB-S t=12.5 + 化粧タイル貼板 t=6 (GW-24kg/m3 t=50 充填)	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.300	トイレブース: 高圧洗浄化粧合板フラッシュ t=40 タイル天端: タイル+タ=20						
	多目的便所	FL±0	RC	磁器質タイル100×100	磁器質タイル100×100 H=300	LGS	GB-S t=12.5 + 化粧タイル貼板 t=6 (GW-24kg/m3 t=50 充填)	—	LGS	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	2.300	タイル天端: タイル+タ=20						
表示 略号	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り		OS	オイルステイン塗り		ALC	軽量気泡コンクリートパネル		GB-R	せっこうボード		RW	ロックウール		SLF	均しモルタル (セルフレベリング工法)			
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り		OSV	オイルステインワニス塗り		EGP	押出成形セメント板		GB-F	強化せっこうボード		GW	グラスウール吸音材		FF	乾式遮音二重床システム+バネ+タイル+タ=20			
	EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料塗り		B-AE	アクリル樹脂系統付塗装		RC	鉄筋コンクリート		GB-S	シーリングせっこうボード		FB	フラットバー		SP	スチールパーテーション			
	OP	油性顔合ペイント塗り		DP	耐候性塗料塗り		S	鉄骨		GB-D	化粧せっこうボード		HL	ヘアライン仕上げ		TB	トイレブース (メラミンフラッシュ)			
	SOP	合成樹脂顔合ペイント塗り		WP	木製保護塗料塗り		LC	軽量コンクリート		GB-NC	不燃積層せっこうボード		VU	硬質塩化ビニル管 (薄肉管)		OR	カーテンレール			
	FE	フタル酸樹脂エナメルペイント塗り		LE	ラッカーエナメル塗り		GB	コンクリートブロック		GB-P	吸音用あまきせっこうボード		VP	硬質塩化ビニル管 (一般管)		AB	アルミ製暗幕ボックス			
	VE	塩化ビニル樹脂エナメルペイント塗り		NAD	アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り		LGS	軽量鉄骨		GB-L	せっこうラスボード		SGP	配管用炭素鋼鋼管 (白タ管)		BB	アルミ製ブラインドボックス			
	UE	ポリウレタン樹脂ペイント塗り					PC	プレキャストコンクリート		DR	ロックウール化粧吸音板		RD	ルーフトレイン						
	AE	アクリル樹脂エナメルペイント塗り					SUS	ステンレス鋼 (304) 特記無き限り		タイル貼板	繊維混入けい酸カルシウム板		DP	壁樋						
	CL	クリアラッカー塗り					ST	スチール		FPB	フォームポリスチレンボード									
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り					AL	アルミニウム		RW-B	ロックウール吸音ボード									
										GW-B	グラスウールボード									



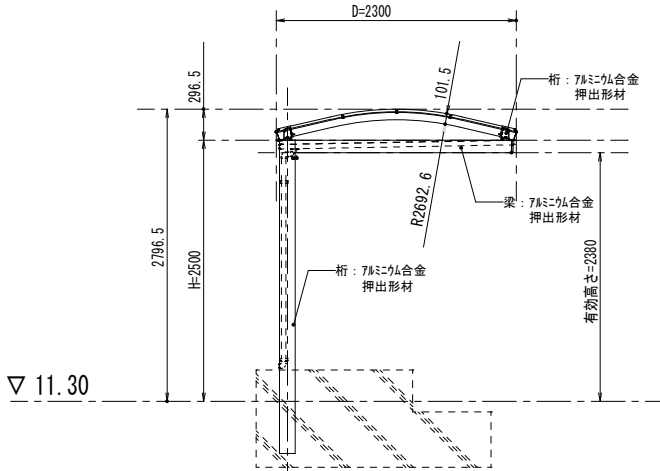
※ 見学席の接地地盤 ≧ 10.80より、平均値=10.80とする。



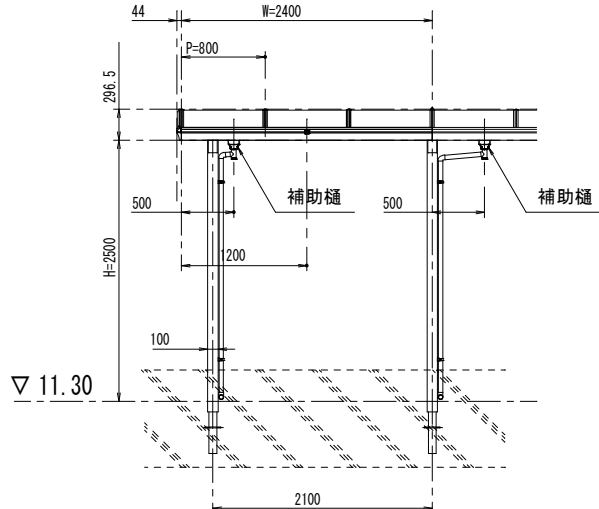
多目的スペース平面図 S=1/50



シルター屋根伏図 S=1/50



シルター側面図 S=1/50



シルター立面図 S=1/50

731製シルター 材質仕様書	
名 称	材 質
柱	アルミニウム合金押出型材
梁	アルミニウム合金押出型材
桁・妻座木・垂木	アルミニウム合金押出型材
中継	アルミニウム合金押出型材
パネル押え	アルミニウム合金押出型材
屋根パネル	ポリカーボネート板 t=2.0 (国土交通大臣認定番号: DW-0054)
桁受けブラケット	アルミニウム板 (S1色) t=1.0
コーナー金具	一般構造用圧延鋼材 t=1.0
補助縫	アルミニウム合金押出型材
雨樋	アルミニウム合金押出型材
端部キャップ	アルミニウム合金縁物
ボルト等	ステンレス

※ シルター 基準風速 V0=34m/s
積雪荷重 600N/m²

■凡例	
	観覧席 コンクリート 21-15-25 D-13@200ｼﾝｸﾞﾙﾀﾞｲﾚｸｼｮﾝ 下部 地盤改良
	20-7・通路 機盤、土埋め戻しまで建築工事 コンクリート打放し 機盤：土木工事
	建築工事外範囲

A	731製シルター フリンクド S R屋根 偏芯柱タイプ (三共立山731)
B	ベージュ 長谷川体育 KT-1212、1210 (標準色)
C	コンクリート機盤 化粧型枠コンクリート打放し 機盤 下部 地盤改良